

別 冊

- ふじのくにフロンティア推進区域（個表）
- ふじのくにフロンティア推進エリア（個表）

■ふじのくにフロンティア推進区域一覧

No.	市町	推進区域名称	頁
1	静岡市	駿河区丸子・宇津ノ谷地区における新たな物流拠点整備区域	2
2		葵区薬師地区における新たな物流拠点整備区域	2
3		大谷・小鹿地区における新たな産業・交流機能等創出推進区域	3
4		地域資源活用による都市山村交流推進区域	3
5		清水港新興津地区物流拠点整備推進区域	4
6	浜松市	「未来創造『新・ものづくり』特区」新・産業集積推進区域	4
7	沼津市	周辺環境と調和した緑豊かで安全・安心な産業集積推進区域	5
8	熱海市	「首都圏に一番近い離島・初島」の活力創造推進区域	5
9	三島市	農業・観光関連施設集積区域	6
10		三ツ谷地区新たな産業拠点整備区域	6
11		三島玉沢インターチェンジ周辺医療・健康関連産業等集積区域	7
12		ゆとりある田園居住区整備促進区域	7
13		北沢地区豊かな暮らし空間創生住宅整備区域	8
14		三島塚原 IC 周辺ゆとりある田園居住区整備促進区域	8
15	富士宮市	北山・上井出・白糸地区職住近接集落地域活性化区域	9
16	伊東市	伊豆・いとう地魚王国推進区域	9
17	島田市	新東名島田金谷 IC 周辺都市的土地利用推進区域	10
18	富士市	新東名新富士 IC 周辺物流拠点創出事業区域	10
19		田子の浦港周辺防災対策・にぎわい創出推進事業区域	11
20		江川地区豊かな暮らし空間創生住宅整備推進区域	11
21	磐田市	磐田市下野部地区産業集積区域	12
22		福田漁港周辺“食の拠点”区域	12
23		「いわた農業経営塾」推進区域	13
24		「磐田スマートアグリバレー」推進区域	13
25	焼津市	「田尻北地区」耕作放棄地の再生による高付加価値農業創出推進区域	14
26		大井川焼津藤枝 SIC を活かした産業拠点推進区域	14
27	掛川市	「上西郷地区」産業集積推進区域	15
28		「寺島・幡鎌地区」農地整備推進区域	15
29		「倉真第 2 PA 地区」整備推進区域	16
30		「大坂・土方地区」産業集積推進区域	16
31		「新エコ第 3 期地区」産業集積推進区域	17
32		「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域	17
33		「南西郷地区」産業集積推進区域	18

34	藤 枝 市	新東名藤枝岡部 IC 周辺推進区域	18
35		板妻南工業団地開発推進区域	19
36	御 殿 場 市	駒門周辺地域エコシティ化推進区域	19
37		「印野地区」豊かな暮らし空間創生住宅整備促進区域	20
38	袋 井 市	袋井市静岡モデル防潮堤整備と連動した次世代産業拠点創出推進区域	20
39		東名袋井 IC 周辺産業集積拠点創出推進区域	21
40	下 田 市	「春日山及び下田公園地域」交流拡大・防災対策推進区域	21
41	裾 野 市	東名裾野 IC 周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり推進区域	22
42		裾野市北部地域職住近接の防災スマートシティ創出推進区域	22
43	湖 西 市	新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域	23
44		浜名湖西岸地区産業集積推進区域	23
45	伊 豆 市	天城北道路大平 IC 周辺「森と農」活力創造推進区域	24
46		「天城北道路」と「道の駅」を生かした地域振興拠点づくり推進区域	24
47	御前崎市	御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域	25
48	菊 川 市	菊川市次世代農業推進区域	25
49	伊豆の国市	「世界遺産 明治日本の産業革命遺産 韮山反射炉」及び「江川邸」を核とした歴史文化のまちづくり推進区域	26
50		江間工業用地開発推進区域	26
51	牧之原市	東名相良牧之原 IC 周辺土地利用推進区域	27
52	東伊豆町	稲取高原特色を生かした観光地づくり推進区域	27
53	河 津 町	河津町子育て文化コミュニティ機能推進区域	28
54	南伊豆町	南伊豆町差田地区産業拠点推進区域	28
55	松 崎 町	道の駅「花の三聖苑」等を活用した起業の学びの拠点創出推進区域	29
56	西伊豆町	「安良里地区」防災拠点施設整備推進区域	29
57		「田子地区」大学生と地域住民との交流拠点施設整備推進区域	30
58	函 南 町	「道の駅・川の駅」を活用した地場産品活用6次産業化推進区域	30
59	清 水 町	久米田地区成長産業集積推進区域	31
60	長 泉 町	長泉沼津 IC 周辺物流関連産業等集積区域	31
61	小 山 町	(仮称) 小山パークینگエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業推進区域	32
62		再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域	32
63		東名高速道路足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域	33
64		生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域	33
65		南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」推進区域	34
66		富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域	34
67		富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域	35
68		リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域	35

69	吉 田 町	物資供給拠点確保事業推進区域	36
70		企業活動維持支援事業推進区域	36
71	川 根 本 町	ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域	37
72	森 町	遠州森町 PA 周辺有効活用推進区域	37
73		森掛川 IC 周辺次世代産業集積区域	38
74		内陸部への移転企業の受け皿確保区域	38

■ふじのくにフロンティア推進エリア一覧

No.	市町	推進エリア名称	頁
1	御殿場市	御殿場“エコガーデンシティ”産業立地促進エリア	41
2	川根本町	ICT・IoTによる新産業創出推進エリア	42
3	島田市 牧之原市 吉田町	富士山静岡空港周辺観光・産業交流推進エリア	43
4	下田市 東伊豆町 河津町 南伊豆町 松崎町 西伊豆町	世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆'sライフスタイル』創造エリア	44
5	沼津市	先端科学技術を活用した農業イノベーション創出エリア	45
6	湖西市	湖西市版 MaaS（企業シャトル BaaS）によるデジタルシティ推進エリア	46
7	伊豆市	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、交流・関係・定住人口創出推進エリア	47
8	清水町	笑顔があふれ誰もが健康に暮らせる『笑街健幸のまち』推進エリア	48
9	富士市	企業の競争力と暮らしの質を高め、新たな価値を創造するテレワーク先進都市エリア	49
10	焼津市	「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「新たな働き方・楽しみ方」の掛け合わせにより、多彩な人々が寄り集う「港まちやいづ」創造エリア	50
11	御前崎市	脱炭素社会と経済の活性化を実現する、御前崎型の次世代農業・賑わい創出エリア	51

ふじのくにフロンティア推進区域（個表）

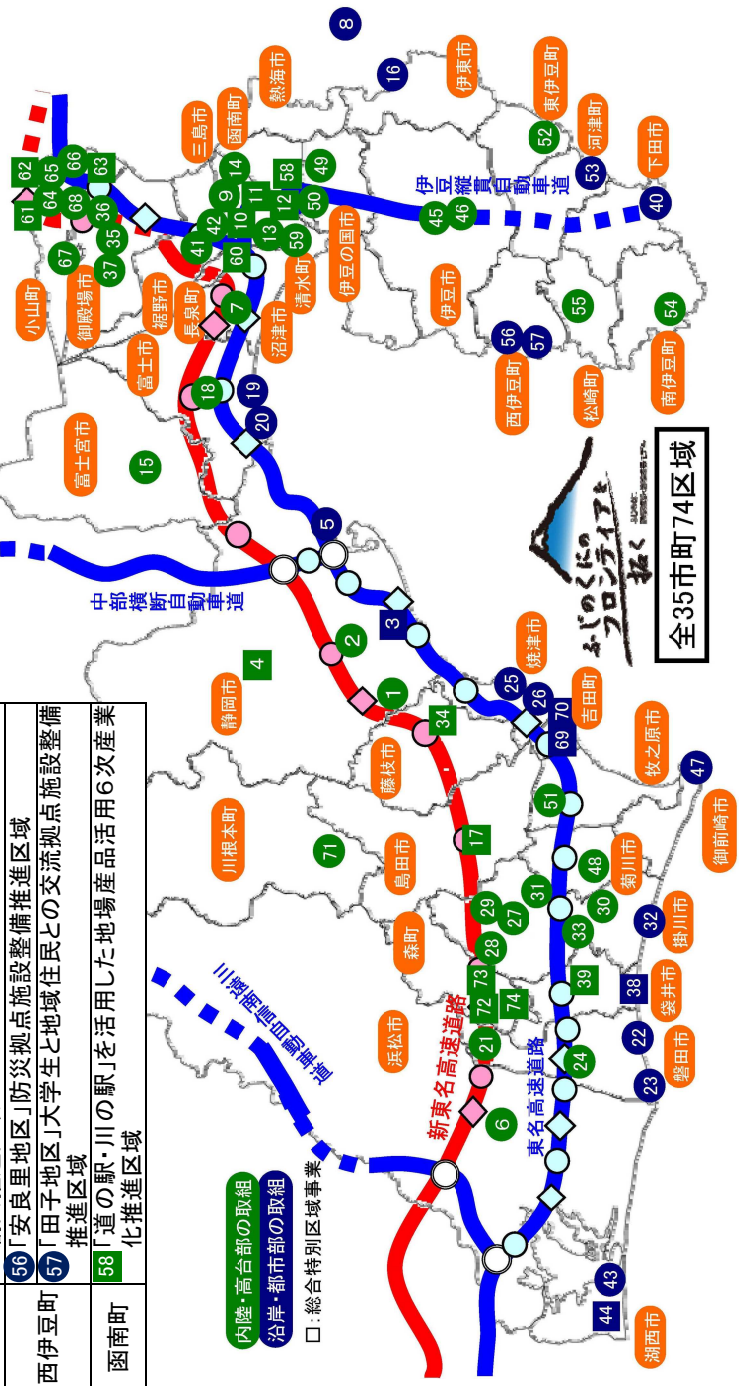
ふじのくにフロンティア推進区域の一覧

(令和4年3月末時点)

市町	推進区域名称
静岡市	1 駿河区丸子・宇津ノ谷地区における新たな物流拠点整備区域
	2 葵区薬師地区における新たな物流拠点整備区域
	3 大谷・小鹿地区における新たな産業・交流機能等創出推進区域
	4 地域資源活用による都市山村交流推進区域
浜松市	5 清水港新興津地区物流拠点整備推進区域
	6 「未来創造」新・ものづくり「特区」新・産業集積推進区域
沼津市	7 周辺環境と調和した緑豊かで安全・安心な産業集積推進区域
	8 「首都圏に一番近い離島・初島」の活力創出推進区域
熱海市	9 農業・観光関連施設集積区域
	10 三ツ谷地区新たな産業拠点整備区域
三島市	11 三島玉沢インターチェンジ周辺医療・健康関連産業等集積区域
	12 ゆとりある田園居住区整備促進区域
富士宮市	13 北沢地区豊かな暮らし空間創生住宅整備区域
	14 三島塚原 IC 周辺ゆとりある田園居住区整備促進区域
伊東市	15 北山・上井出・白糸地区職住近接集落地域活性化区域
	16 伊豆・いとう地魚王国推進区域
島田市	17 新東名島田金谷 IC 周辺都市的土地利用推進区域
	18 新東名新富士 IC 周辺物流拠点創出事業区域
富士市	19 田子の浦港周辺防災対策・にぎわい創出推進事業区域
	20 江川地区豊かな暮らし空間創生住宅整備推進区域
磐田市	21 磐田山下野部地区産業集積区域
	22 福田漁港周辺「食の拠点」区域
磐田市	23 「いわた農業経営塾」推進区域
	24 「磐田スマートアグリハレ」推進区域
焼津市	25 「田尻北地区」耕作放棄地の再生による高付加価値農業創出推進区域
	26 大井川焼津藤枝 SIC を活かした産業拠点推進区域
掛川市	27 「上西郷地区」産業集積推進区域
	28 「寺島・幡鎌地区」農地整備推進区域
掛川市	29 「倉真第2PA 地区」整備推進区域
	30 「大坂・土方地区」産業集積推進区域
掛川市	31 「新工コ第3期地区」産業集積推進区域
	32 「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域
藤枝市	33 「南西郷地区」産業集積推進区域
	34 新東名藤枝岡部 IC 周辺推進区域
御殿場市	35 板妻南工業団地開発推進区域
	36 駒門周辺地域エコシティ化推進区域
袋井市	37 「印野地区」豊かな暮らし空間創生住宅整備促進区域
	38 袋井市静岡モデル防潮堤整備と連動した次世代産業拠点創出推進区域
袋井市	39 東名袋井 IC 周辺産業集積拠点創出推進区域

市町	推進区域名称
下田市	40 「春日山及び下田公園地域」交流拡大・防災対策推進区域
	41 東名裾野 IC 周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり推進区域
裾野市	42 裾野市北部地域職住近接の防災スマートシティ創出推進区域
	43 新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域
湖西市	44 浜名湖西岸地区産業集積推進区域
	45 天城北道路大平 IC 周辺「森と農」活力創出推進区域
伊豆市	46 「天城北道路」と「道の駅」を生かした地域振興拠点づくり推進区域
	47 御前崎ウオーターフロントにぎわい創出推進区域
御前崎市	48 菊川市次世代農業推進区域
	49 「世界遺産 明治日本の産業革命遺産 韭山反射炉」及び「江川邸」を核とした歴史文化のまちづくり推進区域
伊豆の国市	50 江間工業用地開発推進区域
	51 東名相良牧の原 IC 周辺土地利用推進区域
牧之原市	52 稲取高原特色を生かした観光地づくり推進区域
	53 河津町子育て文化コミュニティ機能推進区域
南伊豆町	54 南伊豆町差田地産産業拠点推進区域
	55 道の駅「花の三聖苑」等を活用した起業の学びの拠点創出推進区域
松崎町	56 「安良里地区」防災拠点施設整備推進区域
	57 「田子地区」大学生と地域住民との交流拠点施設整備推進区域
西伊豆町	58 「道の駅・川の駅」を活用した地場産品活用6次産業化推進区域

市町	推進区域名称
清水町	59 久米田地区成長産業集積推進区域
	60 長泉沼津 IC 周辺物流関連産業等集積区域
長泉町	61 (仮称)小山ハーパーエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業推進区域
	62 再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域
小山町	63 東名高速道路足柄サービシアエリア周辺を広く都市交流拠点とした土地利用事業推進区域
	64 生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域
南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」推進区域	65
	66 富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域
富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域	67
	68 リバーガーデンタウンおまや宅地造成事業推進区域
吉田町	69 物資供給拠点確保事業推進区域
	70 企業活動維持支援事業推進区域
川根本町	71 ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域
	72 遠州森町 PA 周辺有効活用推進区域
森町	73 森掛川 IC 周辺次世代産業集積区域
	74 内陸部への移転企業の受け皿確保区域



1 静岡市:駿河区丸子・宇津ノ谷地区における新たな物流拠点整備区域

完了 工業

目的・事業内容	<p>【物流団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地等の集約化や共同事業による経営の効率化・コスト低減等を図るため、国道1号沿いに物流団地を形成 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い物流団地の導入モデルとして、進出企業との有事の協力協定の締結等により、物資供給や給油供給の機能を確保
全体計画	物流団地整備 A=3.0ha
R3実施内容	物流施設操業
県支援事業	内陸フロンティア推進資金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年2月に物流団地の造成工事が完了 ・平成28年11月に全5区画に5社の物流施設が操業し、新たな雇用を創出している ・平成29年3月に静岡市物流団地共同組合と市が防災協定を締結し、地域防災力の強化を図っている



共同事業により整備された物流団地

事業内容		～2017	2018
【物流団地の整備】	実施		造成完了
【防災協定の締結】	実施		協定締結

2 静岡市:葵区薬師地区における新たな物流拠点整備区域

完了 工業

目的・事業内容	<p>【物流団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の物流施設の老朽化に伴う機能低下に対応しつつ、物流施設の拠点機能を拡大するため、近接地に第2団地を整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事における団地内の電力融通等のBCP対策を強化するとともに、防災協定等を締結することで、災害時に備えた緊急物資保留・輸送機能を確保
全体計画	物流団地整備 A=5.7ha
R3実施内容	物流施設操業
県支援事業	新規産業・地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年6月に北側工区の造成工事が完了 ・令和元年8月に南側工区の造成工事が完了 ・全4区画のうち平成30年5月に1社、令和2年3月には3社が操業し、新たな雇用を創出している



整備された物流団地(北側)

事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021
【物流団地の整備】	実施				造成完了	
【防災協定の締結】	実施					協定締結

3 静岡市:大谷・小鹿地区における新たな産業・交流機能等創出推進区域

工業

目的・事業内容	【工業・物流団地等の整備】 ・土地区画整理事業を実施し、新スマートICによる交通利便性を活用し工業・物流施設を集積 【防災協定の締結】 ・有事に備え、立地企業と防災協定を締結し、物資等の供給拠点を確保
全体計画	工業・物流団地整備 15.0ha
R3実施内容	工業・物流団地造成工事
県支援事業	ふじのくにフロンティア推進資金 新規産業・地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	・平成31年4月に造成工事に着手 ・令和元年9月の日本平久能山スマートIC開通を契機とした周辺地域の開発による経済波及効果を期待し、ものづくりや食品関係企業等の産業集積を図る ・コロナ禍により、企業ニーズに変化が見られるため、開発事業者と連携を図り、産業集積方針に合致した企業の誘致を進める



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【工業・物流団地等の整備】	計画						造成完了
【防災協定の締結】	計画						協定締結

4 静岡市:地域資源活用による都市山村交流推進区域

完了

コミュニティ

目的・実施内容	【観光交流施設の整備】 ・ウイスキー工場の建設に併せた観光交流施設の整備 【防災協定の締結】 ・有事に備えて防災協定を締結し、工場等との連携により人的・物的資源を確保し、地域コミュニティを強化
全体計画	ウイスキー工場整備 1箇所 観光交流センター整備 1箇所
R3実施内容	ウイスキー工場一般見学客受入 ウイスキー製造・出荷 ウイスキー貯蔵棟の建設
県支援事業	内陸フロンティア推進資金 新規産業・地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成28年10月に年間約10万ℓ(ボトル換算約28万本@700ml)の生産力を有するウイスキー工場が操業 ・令和2年2月に防災協定を締結し、地域防災力の強化を図っている ・令和2年10月にウイスキーの出荷を開始 ・工場見学を実施しており、令和3年10月末までに2,300人以上を受入れている



地域資源(麦芽、仕込み水)を活用したウイスキーの製造工場

事業内容		～2017	2018	2019	2020
【観光交流施設の整備】	実施				整備完了
【防災協定の締結】	実施				協定締結

5 静岡市:清水港新興津地区物流拠点整備推進区域

完了

工業

目的・実施内容	【物流団地の整備】 ・想定される最大クラスの津波高に対応した物流団地を整備するとともに港湾へのアクセス道路を整備 【防災協定の締結】 ・港湾労働者の津波避難施設、発災後の緊急物資の一時保管等の拠点施設として活用
全体計画	工業・物流団地整備 A=6.1ha アクセス道路整備 1式
R3実施内容	物流施設操業
県支援事業	内陸フロンティア推進資金、総合特区利子補給金制度 新規産業・地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成29年度に物流団地の造成工事が完了 ・令和2年1月に地元海貨業者4社共同の大規模物流センターが完成 ・令和3年8月に静岡ー山梨間が全線開通した中部横断自動車道、令和4年度開通予定の県道清水富士宮線BP等の交通アクセスを活用し、輸出入貨物を扱う一大拠点を形成 ・今後、海貨4社との防災協定締結により地域防災力を強化



Lv2津波にも対応する物流施設

事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021
【物流団地の整備】	実施		造成完了			
【防災協定の締結】	計画					
	実施					R4以降協定締結

6 浜松市:「未来創造『新・ものづくり』特区」新・産業集積推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業団地の整備】 ・既存産業の高度化及び戦略的企業誘致による新成長産業集積を進めるとともに、災害に備える企業の工場用地需要に対応した工業団地を整備 【防災協定の締結】 ・リスクヘッジのための工場団地としての性格に鑑み、立地企業が地域防災へ積極的に協力
全体計画	工業団地整備 A=34.8ha
R3実施内容	建築工事、企業誘致
県支援事業	内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業 新規産業・地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成30年4月に都市計画道路供用開始 ・令和2年3月に全13区画の造成が完了し、令和3年度内に全区画が完売予定 ・企業の操業に合わせ、防災協定の締結を予定



造成完了した第三都田工場用地

事業内容		～2018	2019	2020	2021	2022
【工業団地の整備】	実施			造成完了		
【防災協定の締結】	計画					
	実施				R5以降操業開始後協定締結	

7 沼津市: 周辺環境と調和した緑豊かで安全・安心な産業集積推進区域

完了

工業

目的・実施内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土幹線軸である東名及び新東名高速道路との連携が強化される本区域において、沿岸部からの企業移転や進出先の受け皿となる新たな産業集積地をつくり、雇用を創出し、定住人口を確保 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地企業に対し、物資貯留や資材提供等の防災協定の締結を求め、地域の防災力を強化
全体計画	工業団地整備 A=7.8ha
R3実施内容	工業団地造成工事
県支援事業	地域産業立地事業費助成(予定) ふじのくにフロンティア推進資金(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月に本区域の変更計画を承認 令和元年10月に住宅から工業への用途の転換を図る地区計画の都市計画決定 令和3年12月に全7区画の造成が完了

内陸・高台部

新しい産業の創出・集積



愛鷹フォレストパーク造成完了

事業内容		~2019	2020	2021	2022
【工業団地の整備】	実績				造成完了
【防災協定の締結】	計画				協定締結

8 熱海市: 「首都圏に一番近い離島・初島」の活力創造推進区域

完了

観光

目的・事業内容	<p>【漁港交流広場の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島の玄関口である初島第一漁港周辺に、総合案内機能や直販機能等を有する休憩施設と、観光交流イベント等に活用する交流広場を整備 <p>【防災拠点・消防団施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団施設の高台への移転及び防災情報機能の集約等により防災拠点機能を強化
全体計画	漁港交流広場整備、防災拠点・消防団施設整備1式
R3実施内容	漁港交流広場の活用
県支援事業	観光施設整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月に消防団施設が完成し、供用を開始 令和2年3月に休憩施設と交流広場が完成 令和2年4月に施設供用開始し、観光業の活性化が図られている

沿岸・都市部

新しい産業の創出・集積



初島漁港交流広場・休憩施設完成

事業内容		~2017	2018	2019
【漁港交流広場の整備】	実施			整備完了
【防災拠点・消防団施設の整備】	実施		整備完了	

9 三島市:農業・観光関連施設集積区域

完了

農業
観光

目的・事業内容	【農業・観光施設の整備】 ・地産地消や6次産業化を図るため、箱根西麓三島野菜を活用した農家レストラン等農業・観光施設を集積 ・災害時の非常食備蓄拠点、周辺住民の避難所機能
全体計画	農業・観光施設整備 1式
R3実施内容	地産地消レストラン・観光施設営業
県支援事業	内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業
進捗状況・課題対応	・平成27年12月に農業観光関連施設と大吊橋整備及び農道整備が完了 ・平成29年7月に三島市と㈱フジコーの間で大規模災害時における三島スカイウォークの利用に関する協定が締結され、支援物資の集積や防災拠点としての活用が見込まれる ・令和3年12月で開業6周年を迎え、累計755万人が訪れている

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



農業観光関連施設(内面)

農業観光関連施設(外面)

事業内容		～2017	2018
【農業・観光施設の整備】	実施		整備完了

10 三島市:三ツ谷地区新たな産業拠点整備区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・地域の産業力の強化を図るため、新たな工業用地を確保するとともに、周辺農地の基盤整備を実施 【防災協定の締結】 ・地域防災力の向上や再生可能エネルギーの導入モデル地区の形成を目指し、進出企業に対し、有事の協力体制に関する協定締結や自家発電設備等の導入を促進
全体計画	工業団地整備 A=11.4ha
R3実施内容	企業誘致
県支援事業	工業用地安定供給促進事業費 地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・令和元年12月に全6区画の造成が完了し、5区画に5社の立地が決定 ・5社のうち4社が操業を開始しており、新たな雇用を創出している

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



三ツ谷工業団地の立地状況

事業内容		～2017	2018	2019	2020
【工業用地の整備】	実施				造成完了
【防災協定の締結】	計画				協定締結
	実施			R3以降	協定締結

11 三島市:三島玉沢インターチェンジ周辺医療・健康関連産業等集積区域

工業

目的・事業内容	<p>【事業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・医薬品関連企業や健康関連産業などの研究所・企業を集積 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の向上や再生可能エネルギーの導入モデル地区の形成を目指し、進出企業に対し、有事の協力体制に関する協定締結や自家発電設備等の導入を促進
全体計画	事業用地整備 A=2.1ha
R3実施内容	企業誘致、アクセス道路工事
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度アクセス道路の調査設計を実施 ・令和2年7月にアクセス道路の工事に着手 ・進入路工事と事業用地の売却手続きを着実に進める

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【事業用地の整備】	計画						造成完了
【防災協定の締結】	計画						協定締結

12 三島市:ゆとりある田園居住区整備促進区域

完了

住宅

目的・実施内容	<p>【住宅地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波被害からの移転の受け皿と職住近接のまちづくりを進めるため、防災・スマート機能を有し、自然環境と調和したゆとりある住宅街区を建設
全体計画	住宅団地整備 35区画
R3実施内容	大場地区の追加造成区画(5区画)の建築
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな暮らし空間創生事業(市山地区:H28認定、大場地区:H29認定) ・豊かな暮らし空間創生事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月に大場、平成30年2月に市山地区で当初計画の30区画の宅地造成が完了 ・令和2年12月に大場地区で追加5区画の宅地造成が完了 ・宅地分譲地は完売し、防災機能を有する自然環境と調和したゆとりある住まいによる生活が始まっている

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



大場地区住宅団地

事業内容		～2017	2018	2019
【住宅地の整備】	実施		造成完了	

13 三島市:北沢地区豊かな暮らし空間創生住宅整備区域

完了

住宅

目的・事業内容	【住宅地の整備】 ・生活と自然が調和したゆとりある暮らしを実現できる住宅地を整備 ・防災設備を備えた地区集会施設や有事にも使用可能な井戸の設置等のハード対策と、自治組織の体制強化や小学校との連携等のソフト対策の両面から地域防災力を向上
全体計画	住宅団地整備 133区画
R3実施内容	-
県支援事業	・豊かな暮らし空間創生事業(H27認定) ・豊かな暮らし空間創生事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成29年1月に133区画の宅地造成が完了 ・宅地分譲地は完売し、防災機能を有する自然環境と調和したゆとりある暮らしが始まっている



北沢地区住宅団地

事業内容		～2017	2018	2019
【住宅地の整備】	実施		造成完了	

14 三島市:三島塚原IC周辺ゆとりある田園居住区整備促進区域

完了

住宅

目的・事業内容	【住宅地の整備】 ・交通利便性と眺望に優れた立地を生かした職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ・地域住民と新たな居住者との協働活動を活発化し、地域コミュニティを強化するため、避難所として利用可能な公園整備とともに、歴史や自然環境の保全活動等を展開
全体計画	住宅団地整備 70区画
R3実施内容	分譲販売
県支援事業	・豊かな暮らし空間創生事業(H30認定) ・豊かな暮らし空間創生事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成30年9月に開発許可済み(50→70区画に計画変更) ・令和2年3月に70区画の宅地造成が完了 ・宅地分譲が開始され、令和3年11月末時点で28区画が契約



三島塚原地区住宅団地造成完了

事業内容		～2017	2018	2019
【住宅地の整備】	実施			造成完了

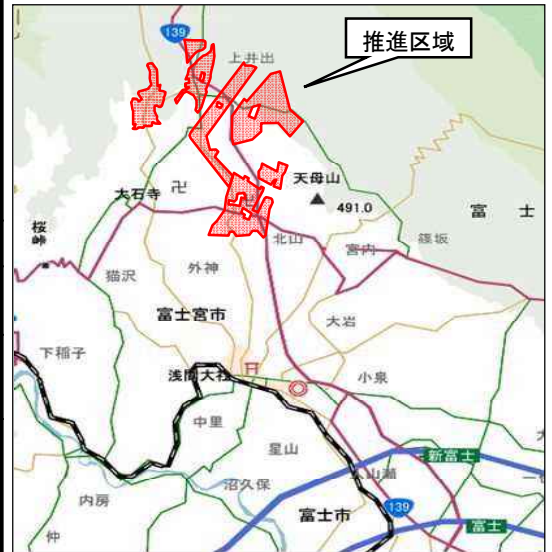
15 富士宮市:北山・上井出・白糸地区職住近接集落地域活性化区域

完了

住宅
工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・北山及び上井出IC周辺地域での新たな企業の誘致、既存立地企業の拡張 【住宅地の整備】 ・企業誘致等と一体的に職住近接のゆとりある住宅地を整備 【消防署の建設】 ・既存立地企業等との防災協定の締結や消防署分署の改築等
全体計画	工業用地整備 A=1.0ha、住宅地整備
R3実施内容	企業誘致
県支援事業	地域産業立地事業費助成(予定) 総合特区利子補給金制度(予定)
進捗状況・課題対応	・平成29年5月に既存工場の拡張工事が完了し、操業を開始 ・平成30年5月に宅地造成工事が完了 ・指定大規模既存集落及び優良田園住宅の制度を活用した宅地建築が完了し、新たな暮らしが始まっている

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【工業用地の整備】	実施	■	造成完了				
【住宅地の整備】	実施	■		造成完了			
【消防署の建設】	実施	■	整備完了				

16 伊東市:伊豆・いとう地魚王国推進区域

観光

目的・事業内容	【加工直売施設の整備・観光施設の整備】 ・安全・安心で高度な水産物供給施設や、新たな需要を創出する加工直売施設等の整備 ・魚市場内に観光施設を併設し、観光産業と連携した新たな賑わいを創出 【魚市場の整備】 ・有事の際にも対応できるよう津波避難場所としての防災機能を備えた複合型魚市場を整備
全体計画	魚市場整備、観光施設整備 1式
R3実施内容	地元調整
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業
進捗状況・課題対応	・魚市場の整備について、全面改修ではなく一部施設の整備へ方針転換したが、水揚げ量の減少により漁協の財源捻出が困難な状況 ・令和3年5月に、直営食堂跡地を利用する企業が決定 ・県は活用事業の提案し、事業推進を支援していくとともに、広域的な計画への展開を後押ししていく

沿岸・都市部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【魚市場の整備】	計画	■			整備完了		
	実施	■					
【観光交流拠点の整備】	計画	■					

整備完了

整備完了

17 島田市:新東名島田金谷IC周辺都市的土地利用推進区域

工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・都市計画用途地域の指定による工業用地の創出 【賑わい交流拠点施設の整備】 ・農業の6次産業化による都市的土地利用を推進 【企業との災害時協力体制の構築】 ・災害時には、緊急輸送路である新東名や国道1号からの物資供給拠点・食料供給拠点を創出
全体計画	工業用地整備 10.7ha、住宅団地整備24区画
R3実施内容	工業用地造成工事、企業誘致、埋蔵文化財調査
県支援事業	地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業 内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 地域産業立地事業費助成 工業用地安定供給促進事業費助成 豊かな暮らし空間創生事業費(予定)
進捗状況・課題対応	・令和元年12月に、牛尾山地区の埋蔵文化財調査に着手 ・令和2年4月に、堤間1期の造成工事を完了 ・令和2年10月に、堤間2期の造成工事に着手 ・令和2年11月に賑わい交流拠点施設(KADODE OOIGAWA)、観光案内施設(おおいなび)、大井川鐵道新駅(門出駅)が同日開業 ・コロナ禍での緊急事態宣言の影響もあり、開業から1年間の来場数は68万人に留まったものの、回復基調にある。 ・令和3年9月までに、4区画の宅地造成が完了し、2区画が契約済である。

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



賑わい交流拠点施設

事業内容		~2020	2021	2022	2023	2024
【工業用地の整備】	計画					造成完了
【住宅地の整備】	計画					造成完了
【賑わい交流拠点施設の整備】	実施		整備完了			
【企業との災害時協力体制の構築】	計画					体制構築

18 富士市:新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業区域

完了

工業

目的・事業内容	【物流団地の整備】 ・土地区画整理事業を行い、防災拠点機能と流通業の集積を両立した物流拠点を創出 【企業との災害時協力体制の構築】 ・流通業務地内企業と有事の協力体制を構築
全体計画	物流団地整備 A=13.2ha ※R3まで実績 区画整理事業A= 16.7ha
R3実施内容	区画整理事業
県支援事業	社会資本整備総合交付金
進捗状況・課題対応	・平成30年3月に流通業務専用地の造成完了 ・令和2年4月に県内最大級の延床10万㎡(最大16社入居可)の物流施設完成 ・計画事業区域以外にも推進区域内に事業効果が波及し、5社が立地し操業開始 ・令和2年6月に大型物流施設を立地した企業と防災協定を締結し、地域防災力の強化を図っている

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



完成した大規模物流施設

事業内容		~2017	2018	2019	2020
【物流団地の整備】	実施		造成完了		
【企業との災害時協力体制の構築】	実施				体制構築

19 富士市:田子の浦港周辺防災対策・にぎわい創出推進事業区域

観光

目的・事業内容	【津波対策施設整備】 ・静岡県第4次地震想定レベル2において死者ゼロを目指した対策を推進 【観光交流拠点の整備】 ・ふじのくに田子の浦みなと公園や田子の浦漁港を活用した新たなにぎわいゾーンを創出
全体計画	交流施設整備 1式、波除堤一部機能強化
R3実施内容	第3波除堤機能強化実施設計、工事着手
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成29年度に田子の浦港振興ビジョンを改定 ・平成30年2月にふじのくに田子の浦みなと公園が供用を開始し、年間11万人の利用を見込む ・令和元年5月に市と県港湾管理者で波除堤の機能強化に向けた協定を締結 ・令和3年度は第3除堤機能強化工事着手 ・防災面の強化を図りつつ、地域の賑わいの創出を目指す



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【津波対策施設整備】	計画						
		第3波除堤 一部機能強化終了					
【観光交流拠点の整備】	実施		供用開始				

20 富士市:江川地区豊かな暮らし空間創生住宅整備推進区域

完了

住宅

目的・事業内容	【住宅団地の整備】 ・整備が進む田子の浦港周辺の賑わいや豊かな海浜の自然、富士山の眺望を楽しむなど、多様なライフスタイルに対応可能な住宅団地を整備 ・太陽光発電設備を備えた耐震性に優れる住宅を建設するとともに、緊急避難場所としても利用可能な公園を整備し、防災倉庫を設置
全体計画	住宅地整備 99区画
R3実施内容	分譲販売
県支援事業	豊かな暮らし空間創生事業 (H29認定)
進捗状況・課題対応	・平成30年3月に宅地造成工事が完了し、令和3年9月時点で50区画が契約 ・自然環境と調和したゆとりある住まいによる生活が始まっている ・住宅地周辺には防災公園に加え、住宅メーカー寄贈の太陽光発電を備えた集会所が整備され、地域防災力の強化を図っている



江川地区住宅団地

事業内容		～2017	2018
【住宅団地の整備】	実施		造成完了

21 磐田市:磐田市下野部地区産業集積区域

完了

工業

目的・事業内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業や物流産業等の集積を目指し、新東名高速道路新磐田スマートICに直結する下野部地区に工業団地を開発 <p>【企業との災害時協力体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の充実・強化を目指し、立地企業に対し、地域防災への協力を要請
全体計画	工業団地整備 A=27.9ha
R3実施内容	進出企業操業、企業誘致
県支援事業	地域産業立地事業費助成 ふじのくにフロンティア推進資金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年3月に全8区画の造成工事が完了 ・平成30年12月に進出企業と防災協定を締結し、地域防災力の充実・強化が図られている ・令和3年7月に新磐田スマートICが開通し、新東名高速道路へのアクセス向上が図られている ・令和3年8月に残り2区画の企業が決定し、全区画完売 ・4社が操業を開始しており、新たな雇用を創出している

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



下野部工業団地造成完了

事業内容		～2017	2018	2019
【工業団地の整備】	実施	■	■	■
【企業との災害時協力体制の構築】	実施	■	■	■

22 磐田市:福田漁港周辺“食の拠点”区域

完了

観光

目的・事業内容	<p>【商業施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部から地域経済の活性化とにぎわいの創出を図る食の拠点を整備 <p>【津波避難施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事の際は津波避難施設となる津波避難タワーを整備
全体計画	商業施設整備、津波避難施設整備 各1箇所
R3実施内容	指定管理者による管理・運営
県支援事業	ふじのくにフロンティア推進資金 地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月に商業施設(渚の交流館)と津波避難施設の供用開始 ・更なる集客力の向上に向け、平成28年度にアドバイザー派遣事業を実施 ・平成30年4月より指定管理者による管理とし、利用者の拡大を図っている ・商業施設は、令和3年10月末までに約95万人が来場

沿岸・都市部 新しい産業の創出・集積



渚の交流館と津波避難タワー

事業内容		～2017	2018
【商業施設の整備】	実施	■	■
【津波避難施設の整備】	実施	■	■

23 磐田市:「いわた農業経営塾」推進区域

完了

農業

目的・事業内容	<p>【農業経営塾の開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業等の農業参入の促進を図るとともに、新たな雇用の場を創出するため、沿岸部の未利用農地の再整備を行い、企業が農業生産技術や経営管理手法を習得する農業経営塾を開講 農地保有適格法人が持つ多様な流通チャネルを活用し持続可能な農業経営のネットワークを構築 <p>【津波避難施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業塾利用者や周辺レクリエーション施設利用者等が使用可能な津波避難施設を整備
全体計画	就農支援拠点施設、津波避難施設整備 一式
R3実施内容	栽培研修、経営講義
県支援事業	ふじのくにフロンティア推進資金(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に農業経営塾が開講し、研修を実施 平成27年10月に津波避難施設が完成し供用開始 令和元年12月に栽培施設(ハウス)約6,000㎡が完成 令和2年度に栽培施設(ハウス)約12,000㎡が完成

沿岸・都市部 新しい産業の創出・集積



農業経営塾の様子



津波避難タワー

事業内容		～2017	2018
【農業経営塾の開講】	実施		開講
【津波避難施設の整備】	実施		整備完了

24 磐田市:「磐田スマートアグリバレー」推進区域

完了

農業

目的・事業内容	<p>【施設園芸団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業を核とした新たな地域産業を創出するため、ICTの活用により種苗から生産、加工、販売までを一貫して行う農業ビジネス「磐田スマートアグリカルチャー事業」を推進 <p>【事業者との災害時協力体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事の際には、事業者の協力を得て、農産物の供給、避難所として活用
全体計画	施設園芸団地整備 A=14.67ha
R3実施内容	農産物の生産・出荷
県支援事業	ふじのくにフロンティア推進資金(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年7月に太陽光利用型施設園芸団地が完成し、土耕ケール、トマト、水耕葉物野菜、パプリカの生産開始 平成30年10月にLEDを使った水耕栽培を行う完全閉鎖型植物工場が完成し、リーフレタス等の生産開始 令和2年5月に、60種類の野菜を生産可能な新たな施設園芸団地が完成し、サラダホウレンソウ等の生産開始

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



太陽光利用型施設園芸団地

事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【施設園芸団地の整備】	実施				整備完了		
【事業者との災害時協力体制の構築】	計画					体制構築	
	実施					R4以降体制構築	

29 掛川市:「倉真第2PA地区」整備推進区域

観光

目的・事業内容	<p>【パーキングエリアの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業の資金及びノウハウを活用し集客施設を整備。周辺資源を活かした着地体験型プログラムと連携し地域振興 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事には応援部隊の市内被災地域への空輸や食糧物資供給の拠点化
全体計画	新東名高速道路倉真第2PA(商業施設等)整備 一式
R3実施内容	施設内容の再検討
県支援事業	
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月に第2PAの測量設計着手 開発事業者が決定し、令和2年10月に掛川市が連結予定者に決定 令和3年度はコロナ禍の影響による計画の見直しを実施

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
【パーキングエリアの整備】	計画							整備完了
【防災協定の締結】	計画						整備完了後	協定締結

30 掛川市:「大坂・土方地区」産業集積推進区域

工業

目的・事業内容	<p>【事業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用の安定や経済の活性化を図るため、地域の資源と連携した医療、健康、食品等の新産業を誘致 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業との防災締結により、有事において、市南部におけるヘリポート拠点や食料物資の供給拠点や避難地となりうる平地を確保
全体計画	工業団地整備 A=27.0ha(令和4年度まで:7.6ha)
R3実施内容	工業団地造成工事
県支援事業	<p>工業用地安定供給促進事業費助成</p> <p>地域産業立地事業費助成(予定)</p> <p>ふじのくにフロンティア推進資金(予定)</p>
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年5月に西工区の工業団地造成工事に着手し、令和4年度に完了見込 西工区(12ha)には、1企業の進出が決定し、令和3年7月に建築工事着工

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	～2027
【事業用地の整備】	計画							造成完了
【防災協定の締結】	計画						造成完了後	協定締結

31 掛川市:「新エコ第3期地区」産業集積推進区域

工業

目的・事業内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の地元就業・定着による人口維持及び工業の一層の発展を目指し、新エコポリスエリアに工業団地造成を進め企業を誘致 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事の際の福祉避難所への食糧物資、人材などの避難支援に迅速に対応できるヘリポート拠点となりうる平地を確保
全体計画	工業団地整備 A=33.0ha
R3実施内容	地元調整、土地利用調整、事業スキームの見直し
県支援事業	地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業 地域産業立地事業費助成(予定) 工業用地安定供給促進事業費助成(予定) ふじのくにフロンティア推進資金(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを促進させるため、令和元年12月に都市計画(地域の用途)に関するアドバイザーを派遣 ・令和3年度は土地利用調整・事業スキームの見直しを実施



事業内容		~2017	2018	2019	2020	2021	2022	~2025
【工業団地の整備】	計画							
【防災協定の締結】	計画						造成完了後協定締結	

32 掛川市:「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【防潮堤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸防災林の再生事業と連携しながら、公共事業残土を活用しレベル2に対応した盛土を行う「掛川モデル」を整備 ・有事には津波防御施設として、平時には地域住民や自転車道の利用者が集い、散策できる森林レクリエーションや交流の場を創出
全体計画	森の防潮堤整備 L=6.0km
R3実施内容	防潮堤工事
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から防潮堤工事に着手し、計画区間6,090mのうち令和3年度までに5,288mが完成予定 ・平成27年度より毎年1~3回継続的に県・市・地域住民等との連携による防潮堤への植樹を実施



防潮堤整備状況

事業内容		~2017	2018	2019	2020	2021	2022
【防潮堤の整備】	計画						
							6km整備

33 掛川市:「南西郷地区」産業集積推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・東名高速道路掛川IC付近の利便性が高い本域に、企業誘致のための工業用地を整備 【防災協定の締結】 ・有事に備え、進出企業と防災協定を締結し、災害拠点病院と連携した災害対応拠点として活用
全体計画	工業用地整備 A=8.7ha
R3実施内容	物流施設操業
県支援事業	工業用地安定供給促進事業費助成 県道磐田掛川線拡幅(4車化) 地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	・平成31年3月に造成工事が完了 ・全3区画で操業が開始しており、新たな雇用が創出されている ・令和2年3月に進出企業と防災協定を締結し、地域防災力の強化を図っている



南西郷地区工業団地造成完了

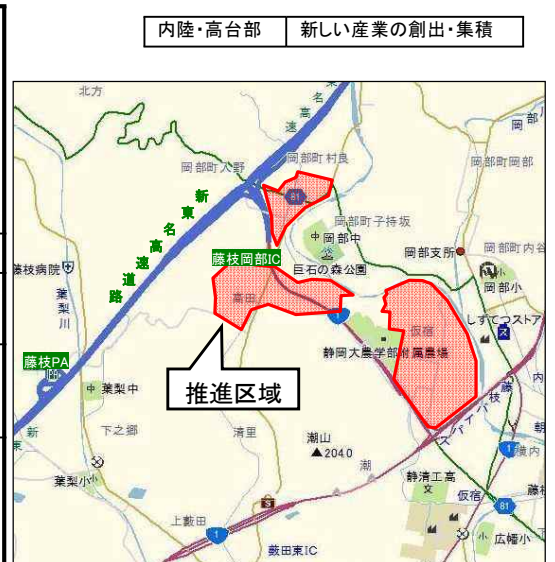
事業内容		~2017	2018	2019
【工業用地の整備】	実施			造成完了
【防災協定の締結】	実施			協定締結

34 藤枝市:新東名藤枝岡部IC周辺推進区域

農業

工業

目的・事業内容	【事業用地の整備】 ・地域経済の活性化を図るため、広域物流施設等を整備 【農業生産基盤・6次産業化施設の整備】 ・農家レストラン、直売所、観光農園等を整備 【生産型市民農園の整備】 【防災協定の締結】 ・有事の際には、立地企業等との協定等の締結により、物資の供給拠点や備蓄基地避難所等の防災機能を確保
全体計画	農業関連整備 1式、工業団地整備 A=11.4ha
R3実施内容	工業団地造成工事(高田) まちづくり構想策定に向け地域との合意形成継続(仮宿)
県支援事業	工業用地等開発可能性詳細調査補助金 工業用地安定供給促進事業費助成 新規産業・地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	・平成29年11月に農地整備工事が完了 ・平成30年5月にオリーブの植栽が完了 ・令和元年10月にオリーブの実が初収穫され、オイルが絞られた ・令和3年9月に高田工業団地の造成が完了し、全6区画に6社の進出企業が決定



初収穫・加工されたオリーブオイル

事業内容		~2017	2018	2019	2020	2021	2022
【事業用地の整備】	実施						造成完了
【農業生産基盤・6次産業化施設の整備】	計画						整備完了
	実施						整備完了
【生産型市民農園の整備】	計画						整備完了
【防災協定の締結】	計画						協定締結

35 御殿場市:板妻南工業団地開発推進区域

完了

工業

目的・事業内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事に備え企業が沿岸部等から移転する需要に対応するとともに、産業の集積化を図るため、スマートインター化が検討されている駒門PA周辺区域に新たな工業団地を整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の向上を図るため、進出企業との防災協定締結により、緊急物資の供給拠点や備蓄機能等を確保
全体計画	工業団地整備 A=10.5ha
R3実施内容	工業団地全区画と防災協定を締結予定
県支援事業	工業用地安定供給促進事業費助成 新規産業・地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月までに工業団地造成工事が完了 ・全7区画に7社の物流業・製造業等が操業し、新たな雇用創出が図られている ・令和4年度以降に防災協定を締結予定



板妻南工業団地の立地状況

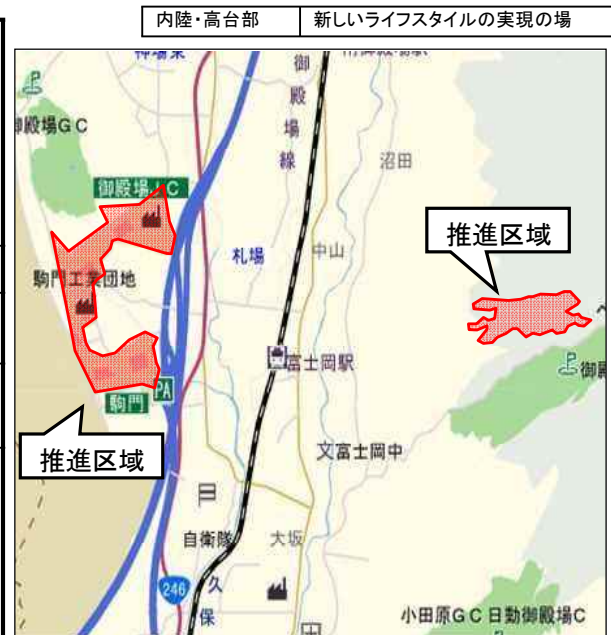
事業内容		~2017	2018	2019	2020	2021
【工業団地の整備】	実施	■	造成完了			
【防災協定の締結】	計画		■	協定締結		
	実施					R4以降 協定締結

36 御殿場市:駒門周辺地域エコシティ化推進区域

完了

エネルギー

目的・事業内容	<p>【再生可能エネルギーの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業、団体、地域等が一体となって、小水力、木質バイオマス等の多様な再生可能エネルギー関連事業を展開 ・エネルギーの地産地消により、有事における市民生活や企業活動の持続性を確保
全体計画	再生可能エネルギーの導入
R3実施内容	小水力発電の実証実験
県支援事業	
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度までにバイオマスボイラーの稼働と原料となる間伐材チップ設備導入により、再生可能エネルギー設備と原料調達の地産地消モデルが確立 ・平成30年5月に小水力発電の設置工事を完了し、実証実験を行った ・今後は、小水力発電の商品化とバイオマスボイラーの他地域への普及拡大を目指していく



間伐材チップを活用するバイオマスプラント

事業内容		~2017	2018	2019
【再生可能エネルギーの導入】	実施	■	バイオマスボイラー・チップ加工場整備	

37 御殿場市:「印野地区」豊かな暮らし空間創生住宅整備促進区域

完了

住宅

目的・事業内容	<p>【住宅地整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外在住の子育て世代等の移住を促進するゆとりある住宅地を整備 ・有事に備え、一時避難地として利用可能なコモンスペースや防災倉庫の設置により集落の防災機能を強化
全体計画	住宅団地整備 8区画
R3実施内容	
県支援事業	豊かな暮らし空間創生事業(H28認定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に宅地造成工事完了 ・平成30年11月に全8区画が完売し、自然環境と調和したゆとりある住まいによる生活が始まっている ・防災倉庫や災害時等の避難地としてのコモンスペース、避難用通路(12m)を整備し、地域防災力の強化を図っている。

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



造成が完了した豊かな暮らし空間創生住宅地

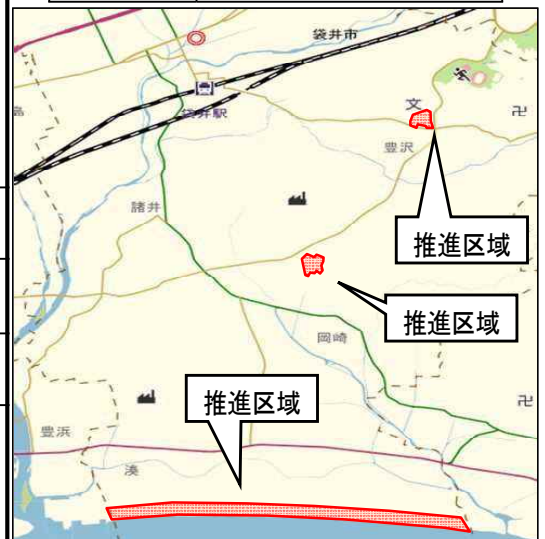
事業内容		～2017	2018	2019
【住宅地の整備】	実施		造成完了	

38 袋井市:袋井市静岡モデル防潮堤整備と連動した次世代産業拠点創出推進区域

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【防潮堤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤の整備と海岸防災林の再生を進めるとともに地域住民の憩いの場となる遊歩道を整備 <p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤整備のための土取り場(豊沢、岡崎地区)を工業団地に整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事に備え、立地企業との防災協定の締結等で地域防災力向上
全体計画	工業団地造成 A=22.7ha(令和4年度まで目標:11.4ha)、防潮堤整備 L=5.35km
R3実施内容	工業団地造成工事、実施設計、防潮堤工事
県支援事業	工業用地安定供給促進事業費助成 地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度より防潮堤整備に着手し、計画区間5.35kmのうち令和3年度末までに4.36kmが完成予定 ・豊沢工業団地は平成30年7月に造成が完了し、令和元年10月より進出企業が操業を開始 ・小笠山工業団地は令和元年8月に岡崎地区(南側の一部)において企業立地協定を締結、令和2年4月に詳細設計に着手

沿岸・都市部 新しいライフスタイルの実現の場



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	～2027
【防潮堤の整備】 (覚書締結区間)	計画							整備完了
【工業団地の整備】	計画							造成完了
【防災協定の締結】	実施							協定締結

39 袋井市:東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域

完了

工業

目的・事業内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東名袋井IC隣接地に近隣で推進するフロンティア特区事業と連動し新たな雇用の場となる、食品関連産業や高機能型物流など高度な産業集積を可能とする工業団地を整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進出企業の特性を生かした防災協定締結により、有事の際の物資供給を確保
全体計画	工業団地整備 A=8.8ha
R3実施内容	企業誘致
県支援事業	地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年1月に工業団地の実施設計着手済み 平成30年8月に開発行為の許可を取得 令和3年2月に造成工事が完了 進出企業決定後に防災協定締結



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【工業団地の整備】	実施					造成完了	
	計画						協定締結
【防災協定の締結】	実施					進出企業決定後協定締結	

40 下田市:「春日山及び下田公園地域」交流拡大・防災対策推進区域

完了

観光

目的・事業内容	<p>【津波避難路となる遊歩道等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 春日山の未活用の地域資源や下田公園等を生かした新たな散策ルートを形成する遊歩道を整備 市と自治会・関係団体との連携により遊歩道周辺の美化活動等を推進 整備する遊歩道を地域住民や観光客のための津波避難路として活用
全体計画	津波避難路となる遊歩道等の整備 L=1,070m
R3実施内容	遊歩道兼避難路工事
県支援事業	緊急地震・津波対策等交付金 観光施設整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年9月に避難路を兼ねた下田公園を結ぶ遊歩道1,070m全線の整備が完了し、供用を開始 平時は新たな散策ルートを形成する遊歩道、有事は地域住民や観光客のための津波避難路として活用が図られる



津波避難路となる観光遊歩道

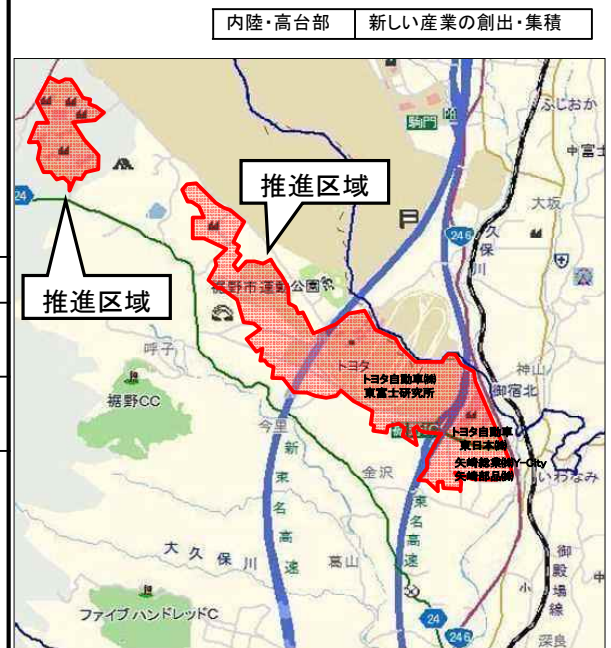
事業内容		～2017	2018	2019	2020
【津波避難路となる遊歩道等の整備】	計画			整備完了	整備完了
	実施				

41 裾野市:東名裾野IC周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・産業集積の促進と企業の立地維持に向けた支援 【防災協定の締結】 ・既存立地企業も含め防災協定を締結するとともに、区域内の公共施設を防災受援施設、広域避難地として整備 ・防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり
全体計画	工業団地整備 A=1.3ha
R3実施内容	取組完了
県支援事業	地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成26年度までに工業用地造成完了 ・令和元年6月に工場が完成し、操業を開始 ・推進区域内企業4社との防災協定を契機に令和3年9月までに推進区域外を含む27社と協定を締結



事業内容		～2017	2018
【工業用地の整備】	実施		造成完了
【防災協定の締結】	実施		協定締結



工場完成



企業との防災協定締結式

42 裾野市:裾野市北部地域職住近接の防災スマートシティ創出推進区域

完了

住宅

目的・事業内容	【住宅地整備】 ・環境に優しく自然と調和した職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ・太陽光発電システムや蓄電池等を活用した自立可能なスマートハウスや公共スペースへの充電スポット等の整備 ・職住近接による企業の事業継続計画の充実
全体計画	住宅地整備 98区画
R3実施内容	宅地造成工事
県支援事業	内陸フロンティア多様化モデル創出事業費補助金 鉄道駅ユニバーサルデザイン施設整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	・令和3年11月に造成工事完了 ・宅地分譲が開始され、令和3年9月末時点で37区画が成約済み



事業内容		～2019	2020	2021	2022
【住宅地の整備】	実施				造成完了



御宿地区住宅団地造成状況

43 湖西市:新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【急傾斜地崩壊対策事業(切土工事・平場整備)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田町地区において急傾斜地の土砂崩壊を未然に防止するための切土工事を実施し、工事によって生じた上部平場を津波避難場所として整備 ・地域住民の協働により津波避難場所を憩いの場として整備 <p>【命山の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地からの排出土砂を活用し、津波避難施設空白区域の住吉地区に命山を整備
全体計画	津波避難場所(切土平場)整備、命山整備 各1箇所
R3実施内容	切土平場造成工事
県支援事業	急傾斜地崩壊対策事業 緊急地震・津波対策等交付金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に住吉地区命山の造成工事に着手し、平成29年度に完了 ・上田町地区は、造成平場の公園施設整備を令和3年1月、造成工事を令和4年2月に完了し、平時は憩いの場、有事は避難場所としての活用が見込まれる



住吉地区命山整備完了

事業内容		~2018	2019	2020	2021
【急傾斜地崩壊対策事業】 (切土工事・平場整備)	実施				整備完了
【命山の整備】	実施		整備完了		

44 湖西市:浜名湖西岸地区産業集積推進区域

工業

目的・事業内容	<p>【工業団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標高30m以上の浜名湖西岸地区に工業団地を整備 <p>【アクセス道路の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送路や津波避難場所ともなるアクセス道路を整備し、残土を防潮堤や命山等に有効活用
全体計画	工業団地整備 A=31.5ha(令和4年度まで目標:28ha) アクセス道路整備 一式
R3実施内容	工業団地造成工事、アクセス道路整備工事
県支援事業	財政支援要望
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月にアクセス道路の実施設計に着手し、平成30年度より工事を開始 ・令和2年8月に土地区画整理事業の工業団地造成工事に着手



浜名湖西岸地区造成状況

事業内容		~2020	2021	2022	2023
【工業団地の整備】	計画				造成完了
【アクセス道路の整備】	計画				整備完了

45 伊豆市:天城北道路大平IC周辺「森と農、活力創造推進区域」

農業
林業

目的・事業内容	<p>【農業生産基盤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と農を活かした地域活性化に向けて、土地改良事業により農業法人に農地を集約化 <p>【貯木施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な林業振興と強靱な森林づくりに向け伊豆中南部から集積する材の貯木施設を整備 ・有事の際には、木材のストックヤードを活用し、復旧対策物資供給拠点となる機能を確保
全体計画	農林業振興拠点整備、土地改良事業 A=18.6ha
R3実施内容	土地利用調整(貯木施設整備)
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に土地改良事業による造成工事が完了し、営農を開始 ・令和4年12月に貯木場整備完了予定

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



農業基盤整備完了

事業内容		～2019	2020	2021	2022
【農業生産基盤の整備】	実施		造成完了		
【貯木施設の整備】	計画				整備完了

46 伊豆市:「天城北道路」と「道の駅」を生かした地域振興拠点づくり推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【観光交流拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「天城北道路」と「道の駅」の整備に併せ、観光案内機能、地場産品の物販機能、コミュニティ維持機能などを有する観光交流拠点を整備 ・バス路線等の公共交通の再編により、各地区の拠点を結ぶネットワークを強化し、機能的で魅力あるコンパクトタウンを形成 ・伊豆半島西南部への交通の要衝として、有事の際の物資供給拠点や観光客の一時避難場所、応急復旧を行う活動拠点として活用
全体計画	観光交流施設整備 1箇所、道の駅整備 1箇所
R3実施内容	道の駅活用促進体制の整備、情報発信
県支援事業	観光地域づくり整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年6月に道の駅駐車場工事が完了 ・令和元年11月に観光交流施設工事が完了し、同年12月に道の駅「伊豆月ヶ瀬」が開業 ・令和3年11月末で来場者数83万人であり、コロナ禍の影響で一時大きく減少したが、回復傾向にある ・道の駅は観光客の一時避難場所等としても活用し、地域の防災機能を強化

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



道の駅「伊豆月ヶ瀬」完成

事業内容		～2017	2018	2019
【観光交流施設の整備】	計画			整備完了

47 御前崎市:御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域

完了

スポーツ

目的・事業内容	【賑わい施設の整備】 ・御前崎灯台周辺やその付近の駐車場やトイレ等を再整備 ・マリンスポーツやレジャーを満喫できる御前崎ロングビーチとファミリー層が多く訪れるマリナーパーク御前崎を再整備 ・整備した施設等の管理・運営を市内の各団体が連携して行い、スポーツを切り口とした賑わいを創出 ・企業誘致を行うことで、観光・産業両面での賑わいを創出 【津波避難路の整備】 ・平時には集落と海岸を結ぶ散策路となる津波避難路を整備するとともに津波防災等の海洋教育を実践	
	全体計画	賑わい施設、津波避難路整備 一式
	R3実施内容	企業誘致、クルーズ船の誘致
	県支援事業	クルーズ船を活用した交流人口拡大推進事業費補助金 観光地域づくり事業費補助金、ふじのくにフロンティア推進資金、地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	・平成30年2月に津波避難路の工事完了済み ・平成31年3月に製造業2社が立地 ・平成30年度に灯台周辺整備工事に着手し、令和2年3月に灯台周辺施設の整備が完了 ・令和元年8月にクルーズ船が御前崎港へ初寄港	



灯台周辺施設整備完了

事業内容		～2017	2018	2019	2020
【賑わい施設の整備】	実施				整備完了
【津波避難路の整備】	実施		整備完了		

48 菊川市:菊川市次世代農業推進区域

完了

農業

目的・事業内容	【農業生産基盤・集出荷施設の整備】 ・地域農業の振興に資する食と農の拠点を創出するため、農業生産法人等へ農地集積し高付加価値野菜を生産するとともに、区画整理を実施し市民農園や直売所等を整備 ・小学校等での「食育の場」としての活用や、短時間就労の場としての利用など、多様なニーズに対応する新しい農業モデルの創出 【一時避難所等の機能確保】 ・有事の際の雨風を凌ぐ一時避難所及び食料供給拠点となる機能を確保	
	全体計画	農業生産基盤整備、集出荷施設整備 一式
	R3実施内容	営農、集出荷施設の活用
	県支援事業	県営 耕作条件改善事業 産地パワーアップ事業費補助金
進捗状況・課題対応	・平成28年6月に農業法人を設立 ・令和元年11月に農地造成工事が完了 ・令和元年11月に集出荷施設整備工事が完了し、供用開始	



農地造成工事完了

事業内容		～2017	2018	2019
【農業生産基盤・集出荷施設の整備】	実施			整備完了

49 伊豆の国市:「世界遺産 明治日本の産業革命遺産 韮山反射炉」及び「江川邸」を核とした歴史文化のまちづくり推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	【施設整備等】 ・世界遺産のガイダンス施設や広場、展望施設等を整備するとともに、多彩な観光資源のネットワーク化や周遊観光の情報発信等により、着地型の広域観光拠点を形成 ・有事に備え、観光客等の避難・受入態勢を強化
全体計画	ガイダンス施設整備 1箇所 資料保存活用施設整備 1箇所
R3実施内容	江川文庫収蔵庫への資料移転
県支援事業	観光施設整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	・平成28年11月にガイダンス施設・多目的広場の工事が完了し、12月に供用開始 ・令和元年9月に収蔵庫の建設が完了 ・ガイダンス施設の駐車場を平成29年3月に広域避難地として指定し、平成30年度に避難誘導計画を策定 ・ガイダンス施設には、令和3年11月末までに約87万人が来場。

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



韮山反射炉ガイダンスセンター 整備完了

事業内容		～2017	2018	2019
【ガイダンス施設等の整備】	実施		整備完了	
【資料保存活用施設の整備】	実施			整備完了

50 伊豆の国市:江間工業用地開発推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業団地の整備】 ・伊豆中央道に近接する旧スポーツワールド跡地に工業団地を整備 【防災協定の締結】 ・立地企業との防災協定締結等により物資等の供給機能を確保
全体計画	工業団地整備 6.9ha
R3実施内容	建設工事、防災協定締結
県支援事業	地域産業立地事業費補助金
進捗状況・課題対応	・平成30年9月に工業団地造成工事が完了 ・全2区画に2社の進出企業が決定し、操業を開始 ・進出企業と災害時の施設利用の協力に関する防災協定を締結

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



立地企業操業開始

事業内容		～2017	2018	2019	2020
【工業団地の整備】	実施				造成完了
【防災協定の締結】	実施				協定締結

51 牧之原市:東名相良牧之原IC周辺土地利用推進区域

住宅
産業

目的・事業内容	<p>【産業交流拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の活性化と雇用の確保を図るため、交通インフラの立地優位性を生かし、流通施設や研究施設等の産業交流拠点を整備 <p>【住宅団地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外からの移住、定住を図るため、職住近接でゆとりある魅力的な住宅団地を整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事の際には緊急物資の供給拠点や被災住民の受け皿となる避難所機能を確保
全体計画	産業交流拠点 15ha、住宅団地整備 一式
R3実施内容	地権者同意取得
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 地域産業立地事業費助成(予定) 工業用地安定供給促進事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月に実施設計に着手 ・令和3年度は地権者同意を取得した後、区画整理事業の事業認可を取得予定



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	
【産業交流拠点の整備】	計画							整備完了
【住宅団地の整備】	計画							整備完了
【防災協定の締結】	計画							整備後協定締結

52 東伊豆町:稲取高原特色を生かした観光地づくり推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【観光交流施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のレクリエーションや滞在型観光の拠点となる憩いの広場の整備や、観光資源の情報発信等を強化 ・有事の際には、近隣公共施設が有する防災機能と連携しながら、親水広場等を仮設住宅、自衛隊宿营地等に活用
全体計画	観光交流施設の整備 1箇所
R3実施内容	オンラインでの観光イベントの開催
県支援事業	観光施設整備事業費補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度までに憩いの広場(観光交流施設)の整備が完了、平成27年4月に供用開始済み ・平成28年11月にトイレ設置工事完了済み ・有事の際は自衛隊の活動拠点(宿营地)として活用 ・毎年各種イベントを開催し施設を活用



憩いの広場

事業内容		～2017	2018	2019
【観光交流施設の整備】	実施		整備完了	

53 河津町:河津町子育て文化コミュニティ機能推進区域

コミュニティ

沿岸・都市部 新しいライフスタイルの実現の場

目的・事業内容	【子育て支援施設の新設及び商工会館の耐震改修】 ・田中地区に、子育て支援施設を新設、浜地区にありコミュニティセンターを併設した商工会館を耐震改修 ・津波に対しては子育て支援施設、洪水に対しては子育て支援施設及び商工会館を一時避難所として地域住民や帰宅困難者等を受け入れ、地域防災力を向上
全体計画	子育て支援施設の整備、商工会館の改修
R3実施内容	子育て支援施設建築工事 商工会館耐震改修工事
県支援事業	内陸フロンティア多様化モデル創出事業費補助金 地震・津波対策等減災交付金
進捗状況・課題対応	・子ども・子育て会議を計9回開催して住民意見を子育て支援施設の設計に反映 ・令和3年6月に商工会館耐震改修工事完了 ・令和3年7月に子育て支援施設の建設に着手し、令和4年7月に完成予定



事業内容		～2018	2019	2020	2021	2022
【子育て支援施設の整備】	計画					整備完了
	実施					整備完了
【商工会館の改修】	実施					整備完了

整備完了

54 南伊豆町:南伊豆町差田地区産業拠点推進区域

完了

工業

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・未利用地となっている内陸部の町有地を活用し、企業誘致のための工業用地と有事の際の仮設住宅建設地を整備する。 【防災協定の締結】 ・立地企業との防災協定の締結や隣接した町営グラウンド等と連携した災害対応拠点としての活用により地域防災力を向上させる。
全体計画	工業用地整備 A=1.0ha
R3実施内容	防災協定締結
県支援事業	地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	・平成29年度に用地造成工事完了 ・令和元年8月に建築工事完了、同年12月に操業を開始 ・令和2年9月に進出企業との防災協定を締結し、有事の際の駐車場及び救援物資の保管場所に活用することで、地域防災力が向上



事業内容		～2017	2018	2019	2020
【工業用地の整備】	実施				造成完了
【防災協定の締結】	実施				協定締結



立地企業操業開始

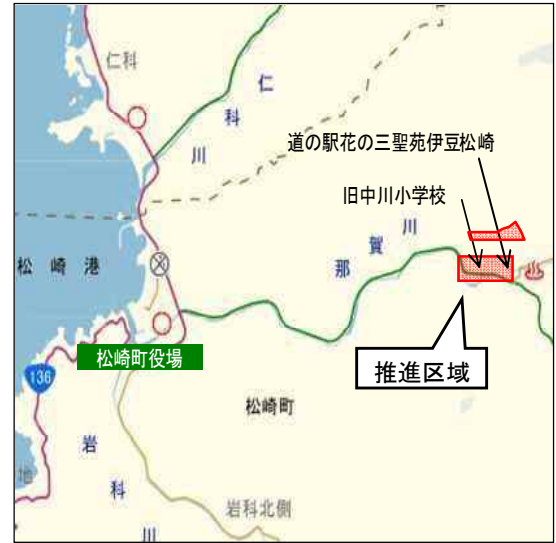
55 松崎町:道の駅「花の三聖苑」等を活用した起業の学びの拠点創出推進区域

完了

産業

目的・事業内容	<p>【観光交流拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「三聖苑」や旧依田邸の既存施設を活用し、桜葉等の地域資源を活用した産業の創出や起業の学び、働き場所の確保につながる観光交流拠点を整備 ・有事には住民や観光客の避難場所や自衛隊の防災活動拠点として活用
全体計画	<p>旧依田邸整備 1箇所 下田警察松崎分署の整備 1箇所</p>
R3実施内容	旧依田邸温泉施設運営
県支援事業	観光地域づくり事業費補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月に下田警察署松崎分署移転工事完了、有事の際は住民や観光客の避難場所や自衛隊の活動拠点として活用 ・令和元年11月に旧依田邸温泉施設改修工事に着手し、令和2年12月に整備完了し開業 ・令和3年8月までに4,000人以上が来館

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



温泉施設開業

事業内容		～2017	2018	2019	2020
【旧依田邸の整備】	実施		整備完了		
【下田警察松崎分署の建設】	実施				整備完了

56 西伊豆町:「安良里地区」防災拠点施設整備推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【診療所・消防団詰所の移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所の高台への移設と設備の高度化等により医療サービスを強化 ・診療所と併せて消防団詰所を津波浸水区域外に移設するとともに、平時は防災教育の場として活用 ・有事の際は、両者が隣接する広域避難地と連携し、防災拠点としての機能を発揮
全体計画	診療所、消防団詰所の整備 1箇所
R3実施内容	防災訓練の実施
県支援事業	
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に診療所及び消防団詰所の建設工事完了 ・平成29年度より診療所及び消防団詰所の供用開始 ・有事の際、診療所及び消防団詰所は、広域避難所と連携し、防災拠点として活用

沿岸・都市部 新しいライフスタイルの実現の場



消防団詰所整備完了

事業内容		～2017	2018	2019
【診療所・消防団詰所の移転】	実施		移転完了	

57 西伊豆町:「田子地区」大学生と地域住民との交流拠点施設整備推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	<p>【交流拠点の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の大学等との連携により集落の維持・発展を図るため、旧田子中学校を活用した、宿泊機能、交流機能を有する活動拠点を整備 ・有事の際は、避難所や物資保管場所、ボランティアの活動拠点として活用
全体計画	多目的交流施設整備 1箇所
R3実施内容	県外大学との連携事業実施
県支援事業	
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月に多目的施設の改修工事を完了し、8月から交流事業を実施し、大学生等の活動拠点として活用 ・平成31年2月と令和元年8月に約100名の大学生が地域活性化活動の拠点として活用 ・大学生によるボランティア団体の合宿を毎年実施 ・有事の際は、避難所や物資保管場所、ボランティアの活動拠点として活用

沿岸・都市部 新しいライフスタイルの実現の場



学生ボランティア 施設活用状況

事業内容		～2017	2018	2019
【交流拠点の整備】	実施		整備完了	

58 函南町:「道の駅・川の駅」を活用した地場産品活用6次産業化推進区域

完了

農業
観光

目的・事業内容	<p>【道の駅・川の駅の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客等の交流人口の増加と新たな雇用、賑わいの創出を図るため、「道の駅・川の駅」を整備し、併せて地場産品を活かした6次産業化を推進 ・有事の際には、物資供給拠点や観光客等の一時避難場所としての機能に加え、応急復旧を行う活動拠点として活用
全体計画	道の駅・川の駅整備 各1箇所
R3実施内容	各種イベントの実施、地場産品を活用したメニューの開発
県支援事業	工業用地等開発可能性基本調査補助金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に地場産品直売所を備えた「道の駅」が完成し、同年5月に供用開始 ・平成30年1月に進出企業がテーマパーク型工場の建設に着手し、同年12月に開業 ・平成31年3月に「川の駅」が完成し、同年4月に供用開始 ・令和3年11月末までに、道の駅には655万人、川の駅には18万人、テーマパーク型工場には396万人が来場

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



川の駅水辺広場の利用状況

事業内容		～2017	2018	2019
【道の駅・川の駅の整備】	実施			整備完了

59 清水町:久米田地区成長産業集積推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業用地の整備】 ・利便性の高い久米田区域において、長期的な雇用確保が期待される成長産業の本社機能の拡充を図るための工業用地を整備 【防災協定の締結】 ・進出企業と防災協定を締結し、避難地や支援物資の集積場としての活用を図り、地域防災力を強化
全体計画	工業団地整備 A=1.2ha
R3実施内容	工場稼働
県支援事業	地域産業立地事業費助成、工業用地安定供給促進事業費助成、内陸フロンティア推進資金
進捗状況・課題対応	・平成29年3月に造成工事に着手、平成29年度中に完了 ・平成30年7月に工場が完成、平成30年9月に操業開始 ・進出企業は、航空宇宙機器部品や、IoT、ロボット設備の導入に取り組む ・平成31年3月に企業と避難地や物資拠点としての使用に係る防災協定を締結し、地域防災力を強化



施設が稼働した工業用地

事業内容		～2017	2018	2019
【工業用地の整備】	実施		整備完了	
【防災協定の締結】	実施			協定締結

60 長泉町:長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積区域

完了

工業

目的・事業内容	【物流拠点の整備】 ・物流拠点の創出と雇用の拡大による地域の活性化を図るため、地域資源である農産物を広域的に集め、食と農と物流をマッチング 【防災拠点の整備】 ・災害時には進出企業の緊急物資保留・輸送機能を確保した広域的な防災拠点づくりを推進
全体計画	工業団地整備 A=3.2ha
R3実施内容	企業誘致
県支援事業	工業用地等開発可能性調査
進捗状況・課題対応	・平成27年9月に物流関連産業の拠点となる物流施設が稼働し、新たな雇用が生まれている ・平成27年9月企業と町が災害時に必要な物資の調達・運搬に係る防災協定を締結 ・工業団地の更なる拡大に向け、令和元年9月に地元勉強会にて、県・町の取組状況等について説明



災害に強い物流施設

事業内容		～2017	2018	2019
【物流拠点の整備】	実施		整備完了	
【防災協定の締結】	実施			協定締結

61 小山町:(仮称)小山パーキングエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業推進区域

観光

目的・事業内容	<p>【事業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の観光資源を活かしたビジネス観光拠点を創出するため、(仮称)小山スマートIC周辺に地場産品販売所やホテル、自動車関連産業を集積 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事においては、(仮称)小山PA、富士スピードウェイと連携した防災拠点を創出
全体計画	<p>産業・観光拠点の整備 1式</p> <p>物流施設の整備 5.0ha</p>
R3実施内容	用地買収、観光拠点造成工事
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 フロンティア推進資金
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年1月にモータースポーツ関連産業集積事業の実設計着手 平成30年8月に開発事業者と基本協定を締結 令和2年5月に観光拠点造成工事に着手 令和2年7月に物流施設の調査・測量に着手



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
【観光拠点の整備】	計画							整備完了
【物流施設の整備】	計画							造成完了
【防災協定の締結】	計画							協定締結

62 小山町:再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域

エネルギー
工業
農業

目的・事業内容	<p>【木質バイオマス発電所の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源循環型林業構築 <p>【事業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事の際には隣接の工業団地等へ電力供給 <p>【太陽光発電所整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスと太陽光のハイブリッド発電 <p>【次世代施設園芸団地等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスを活用した次世代施設園芸を誘致
全体計画	<p>木質バイオマス発電所の整備 1箇所、工業団地造成 117.4ha</p> <p>施設園芸団地の整備 1箇所</p>
R3実施内容	上野工業団地造成工事 施設園芸団地建築工事
県支援事業	工業用地安定供給促進事業費助成 県営畑地帯総合整備事業
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に次世代施設園芸団地で栽培開始 平成30年9月に富士山麓フロンティアパーク小山造成完了 平成30年9月に木質バイオマス発電所開所 令和元年9月に新産業集積エリア工業団地造成完了 令和2年4月に上野工業団地造成工事に着手

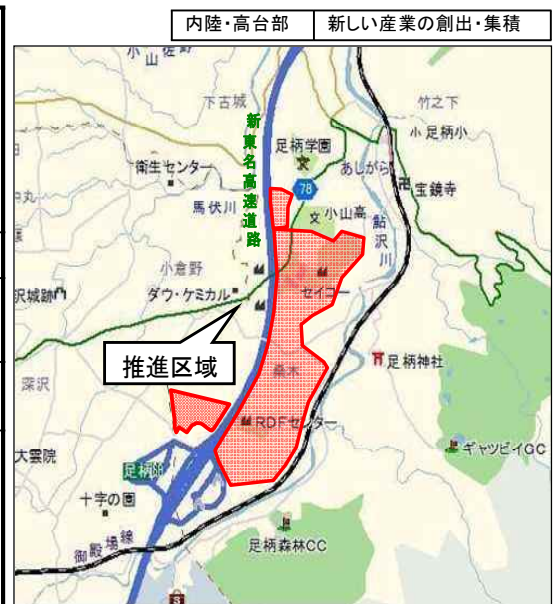


事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
木質バイオマス発電所の整備	実施			整備完了			
事業用地の整備	計画						造成完了
太陽光発電所整備	実施		整備完了				
次世代施設園芸団地等の整備	実施		整備完了				

63 小山町：東名高速道路足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした
土地利用事業推進区域

観光

目的・事業内容	<p>【観光施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東名高速道路足柄SAスマートインターチェンジの整備に併せ、観光拠点施設を整備及び事業用地を創出 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事においては広域防災拠点として活用。また、新東名(仮称)小山PAと連携し、防災機能を強化
全体計画	観光施設の整備
R3実施内容	観光複合施設の事業計画再検討
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年12月に宿泊施設が完成し、営業を開始、平成31年3月に有事における宿泊施設等の提供に関する防災協定を締結 平成28年7月にスマートICアクセス道路工事に着手、平成30年度に工事完了し、平成31年3月に供用開始 平成28年8月に観光複合施設の実施設設計に着手したが、コロナ禍の影響により施設規模を再設計



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	～2025
【観光施設の整備】	計画							整備完了
【防災協定の締結】	計画							協定締結

64 小山町：生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域

完了

住宅

目的・事業内容	<p>【住宅地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸部からの移転の受け皿の確保と県内外からの移住・定住の促進を図るため、自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内の研修所等施設と協定を締結し、地域住民や観光客の一時避難や災害復旧支援者受入機能を確保
全体計画	住宅団地整備 36区画
R3実施内容	
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年10月に住宅団地の実施設計に着手 平成29年度に造成工事が完了し、分譲を開始 令和2年9月時点で全36区画が契約済であり、300㎡超/区画のゆとりある住宅地にて、住宅の建設が進んでいる



事業内容		～2017	2018	2019	2020
【住宅団地の整備】	実施		造成完了		
【防災協定の締結】	計画			協定締結	
	実施				R4以降 協定締結



自然と調和した住宅地

65 小山町:南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」推進区域

完了

住宅

目的・事業内容	<p>【住宅地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、工業団地の職住近接の住宅としての機能を確保 ・有事に自立可能なスマートタウンの創出、区域内に整備する避難地としてのパブリックスペースの確保
全体計画	住宅団地整備 16区画
R3実施内容	
県支援事業	豊かな暮らし空間創生事業 (H26認定)
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年3月に住宅団地の造成工事が完了し、全16区画が完売 ・クルドサック(袋小路)を有し、車両の速度抑制を促す安心・安全な住宅となっている ・全ての区画の住宅が完成し、自然環境と調和したゆとりある住まいによる生活が始まっている



豊かな暮らし空間創生住宅地

事業内容		～2017	2018	2019
【住宅団地の整備】	実施		整備完了	

66 小山町:富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域

完了

コミュニティ

目的・実施内容	<p>【工業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に人の流れを創出するため駅周辺の未利用地を企業誘致のための工業用地として整備するとともに、観光客に対する情報発信機能を強化 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有事に備え、立地企業と防災協定を締結するとともに、強化した情報発信機能を活用して防災情報を駅利用者等に提供
全体計画	工業用地の整備 A=10ha
R3実施内容	駿河小山駅周辺活性化ビジョン策定検討
県支援事業	地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業 地域産業立地事業費助成
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月に工場が完成し、進出企業が操業開始し新たな雇用が創出されている ・平成28年7月に有事の際の救援物資、避難施設の提供に関する災害時協力協定締結済み ・令和2年度は、駿河小山駅周辺活性化ビジョンを策定



防災協定を締結した立地企業

事業内容		～2017	2018	2019
【工業・物流団地等の整備】	実施		造成完了	
【防災協定の締結】	実施		協定締結	

67 小山町:富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域

完了

コミュニティ

目的・事業内容	【観光宿泊施設の整備】 ・「道の駅すばしり」周辺及び国道138号沿道に観光宿泊施設を誘致 【防災協定の締結】 ・有事に備え、誘致施設と防災協定を締結し、道の駅と連携した観光客の一時避難地として活用
全体計画	観光宿泊施設の整備 1式
R3実施内容	宿泊施設との防災協定締結準備
県支援事業	
進捗状況・課題対応	・平成28年度に町が市街化調整区域における開発許可基準を変更したことにより、2つの宿泊施設が開業 ・宿泊施設の1つと有事の際に緊急避難場所とし、食料等の物資を支援する防災協定を締結

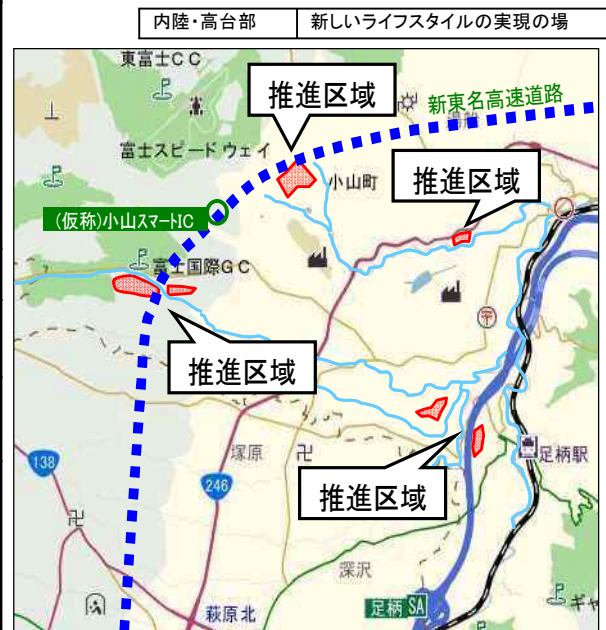


事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022
【宿泊施設の整備】	実施		整備完了				
【防災協定の締結】	実施		協定締結				

68 小山町:リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域

住宅

目的・実施内容	【住宅地の整備】 ・水と緑溢れる豊かな自然環境を生かした職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ・避難所として利用可能な公園整備とともに、公園を活用した防災イベントや自然環境保全活動等を展開
全体計画	住宅団地整備 50区画
R3実施内容	事業者の誘致
県支援事業	
進捗状況・課題対応	・平成28年度に優良田園住宅の基本方針変更に向けた協議実施 ・平成29年度中に優良田園住宅の基本方針改定及び住宅団地調査測量に着手済 ・事業者の誘致に日数を要し、取組に遅れを生じていることから、県としてもアドバイザー派遣制度の活用を提案するなど、幅広く支援していく



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021	2022	～2025
【住宅団地の整備】	計画							造成完了

69 吉田町:物資供給拠点確保事業推進区域

完了

商業

目的・事業内容	【防災公園の整備】 ・沿岸域等で被災した住民の受け皿となる防災公園を整備 【商業施設の整備】 ・有事に物資供給拠点となりうる商業施設を誘致 【防災協定の締結】 立地企業と協定等を締結することにより、防災拠点機能を確保
全体計画	商業施設整備 A=4.4ha
R3実施内容	企業誘致
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 規制の特例措置
進捗状況・課題対応	・平成28年4月に商業施設が開業、同年10月に防災公園が完成し、供用開始 ・平成28年10月に企業2社、平成30年3月に企業2社と町が災害時物資供給支援協力に関する協定等を締結

沿岸・都市部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019
【防災公園の整備】	実施		整備完了	
【商業施設の整備】	実施		整備完了	
【防災協定の締結】	実施		協定締結	



商業施設と防災公園

70 吉田町:企業活動維持支援事業推進区域

完了

工業

目的・事業内容	【工業団地の整備】 ・津波浸水想定区域内から移転する企業の受け皿となる事業用地を造成 【防災協定の締結】 ・新規立地に伴い用地を取得する際に、一定割合の面積を拠出してもらうことで、応急仮設住宅建設用地等を創出し、有事における防災拠点機能を確保
全体計画	工業団地整備 A=3.0ha
R3実施内容	推進区域内企業との防災協定締結
県支援事業	内陸フロンティア推進区域調査事業費助成 規制の特例措置、地域産業立地事業費助成 ふじのくにフロンティア推進資金
進捗状況・課題対応	・平成30年9月に造成工事に着手し、平成31年3月に完了 ・令和元年5月に工業団地につながる橋梁が完成、12月に区域内道路の拡幅が完了 ・令和4年度以降に、有事の応急仮設住宅建設用地等用地の提供に関する防災協定を締結予定

沿岸・都市部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2018	2019	2020	2021
【工業団地の整備】	実施		造成完了		
【防災協定の締結】	実施				R4以降 協定締結



工業団地整備完了

71 川根本町:ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域

完了

ICT

目的・事業内容	【サテライトオフィスの設置】 ・ICTを活用した場所や時間に捉われない柔軟な就労機会を創出するテレワークの導入支援、企業のサテライトオフィス等の誘致 【防災協定の締結】 ・サテライトオフィスを展開する企業等と防災協定を結び、SNS等を活用し被災地情報を相互伝達できるネットワークを構築
全体計画	サテライトオフィス開所 1箇所
R3実施内容	サテライトオフィス拡大促進
県支援事業	地域産業立地事業費助成(予定)
進捗状況・課題対応	・平成29年4月に1社のサテライトオフィスが開所し、平成30年9月より業務を開始 ・令和元年に新たに2社がサテライトオフィスを開所 ・令和元年8月に情報通信業1社と災害時の緊急支援活動及び災害対策システムの構築と利用に関する協定を締結 ・今後、サテライトオフィスを開所している企業の自社ビル建設が予定されている

内陸・高台部 新しいライフスタイルの実現の場



空き家を活用したサテライトオフィス

事業内容		～2017	2018	2019
【サテライトオフィスの設置】	実施		整備完了	
【防災協定の締結】	実施			協定締結

72 森町:遠州森町PA周辺有効活用推進区域

完了

観光

目的・事業内容	【観光交流施設の整備】 ・小国神社に繋がる沿道は地域固有の歴史・文化等を活かした休憩・交流施設整備を促進 【6次産業化施設の整備】 ・県道の沿道は6次産業化施設を集約し「食と農」の魅力を発信する拠点整備を促進 【防災備蓄倉庫の整備】 ・有事においては、緊急輸送路や防災備蓄倉庫を整備、休憩交流施設の緊急避難所として活用
全体計画	6次産業化施設等の整備 一式
R3実施内容	観光交流・6次産業化施設の移働
県支援事業	地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣事業
進捗状況・課題対応	・平成27年2月に防災備蓄倉庫完成し、観光客の一次避難所として神社と防災協定を締結 ・平成29年6月に小国神社内の店舗(茶販売)建築工事に着手し、平成29年11月に開業 ・小国神社及び神社内店舗と有事の物資提供等に関する防災協定の締結を検討中

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



防災備蓄倉庫



観光交流・6次化施設

事業内容		～2017	2018
【6次産業化・交流施設の整備】	実施		整備完了
【防災備蓄倉庫の整備】	実施		整備完了

73 森町:森掛川IC周辺次世代産業集積区域

完了

工業

目的・事業内容	<p>【工業用地整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存工業団地の隣接地で、周辺環境に配慮した工業用地整備を行い、物流業等を誘致 区域西側の県道沿道は、遊休工場用地を有効利用し工業用地を確保 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事には、物資及び食糧供給拠点機能や迅速な復旧対策の拠点機能を確保
全体計画	工業団地の整備 A=0.5ha
R3実施内容	防災協定締結
県支援事業	<p>地域産業立地事業費助成</p> <p>工業用地安定供給促進事業費助成（予定）</p> <p>ふじのくにフロンティア推進資金（予定）</p>
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年8月に遊休工場跡地への進出企業が決定 平成30年2月に造成工事が完了し、平成30年4月に建築工事に着手し、平成31年3月に操業開始 令和3年度中に進出企業と防災協定締結予定

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2017	2018	2019	2020	2021
【工業用地の整備】	実施	■	造成完了			
【防災協定の締結】	実施					協定締結



操業を開始した工場（製造業）

74 森町:内陸部への移転企業の受け皿確保区域

完了

工業

目的・事業内容	<p>【工業用地の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国有数のものづくり産業の集積地である県西部地域の特性等を生かし、内陸部への企業移転の受け皿として、工業専用地域の未利用地を含む周辺地域で工業団地を拡張整備する。 <p>【防災協定の締結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有事には、立地企業に対し協定締結等への協力を求め、立地優位性を生かした物資の供給・備蓄機能を確保する。
全体計画	工業団地の整備 A=1.1ha
R3実施内容	アクセス道路整備工事、企業誘致、防災協定締結
県支援事業	<p>ふじのくにフロンティア推進資金（予定）</p> <p>地域産業立地事業費助成（予定）</p>
進捗状況・課題対応	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年12月にアクセス道路が完成 平成31年1月に造成工事が完了し、令和3年1月操業開始 令和3年度中に進出企業と防災協定締結予定

内陸・高台部 新しい産業の創出・集積



事業内容		～2018	2019	2020	2021
【工業用地の整備】	実施	■	造成完了		
【防災協定の締結】	実施				協定締結



進出企業操業開始

ふじのくにフロンティア推進エリア (個表)

推進エリア一覧表

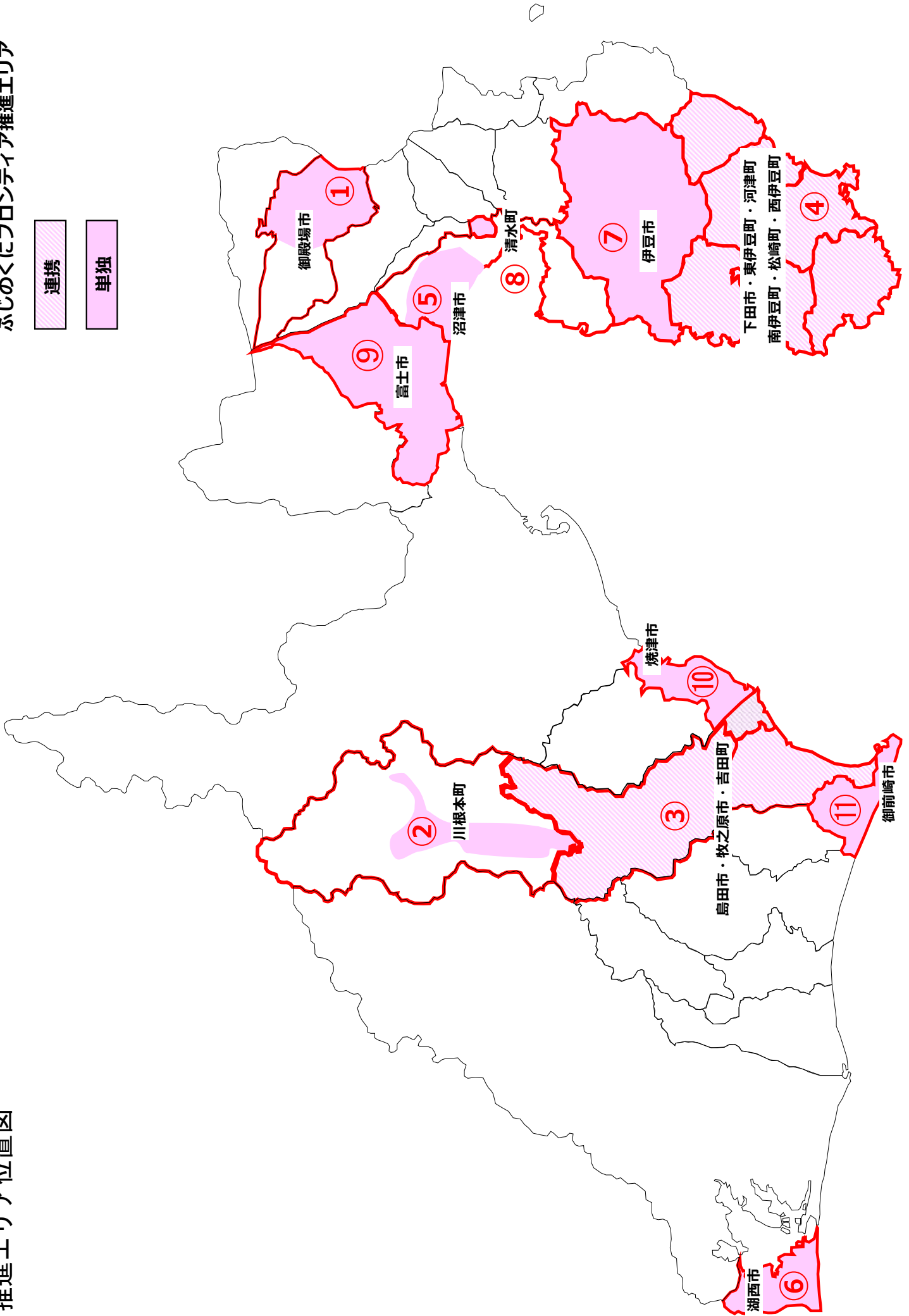
認定	市町名	推進エリア名
R1	御殿場市	御殿場“エコガーデンシティ”産業立地促進エリア
	川根本町	ICT・IoTによる新産業創出推進エリア
R2	島田市・牧之原市・吉田町	富士山静岡空港周辺観光・産業交流推進エリア
	下田市・東伊豆町・河津町 南伊豆町・松崎町・西伊豆町	世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆'sライフスタイル』創出エリア
	沼津市	先端科学技術を活用した農業イノベーション創出エリア
	湖西市	湖西市版MaaS（企業シャトルBaaS）によるデジタルシティ推進エリア
	伊豆市	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、交流・関係・定住人口創出推進エリア
R3	清水町	笑顔があふれ誰もが健康に暮らせる『笑街健幸のまち』推進エリア
	富士市	企業の競争力と暮らしの質を高め、新たな価値を創造するテレワーク先進都市エリア
	焼津市	「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「新たな働き方・楽しみ方」の掛け合わせにより、多彩な人々が寄り集う「港まちやいづ」創造エリア
	御前崎市	脱炭素社会と経済の活性化を実現する、御前崎型の次世代農業・賑わい創出エリア

推進エリア位置図

ふじのくにフロンティア推進エリア

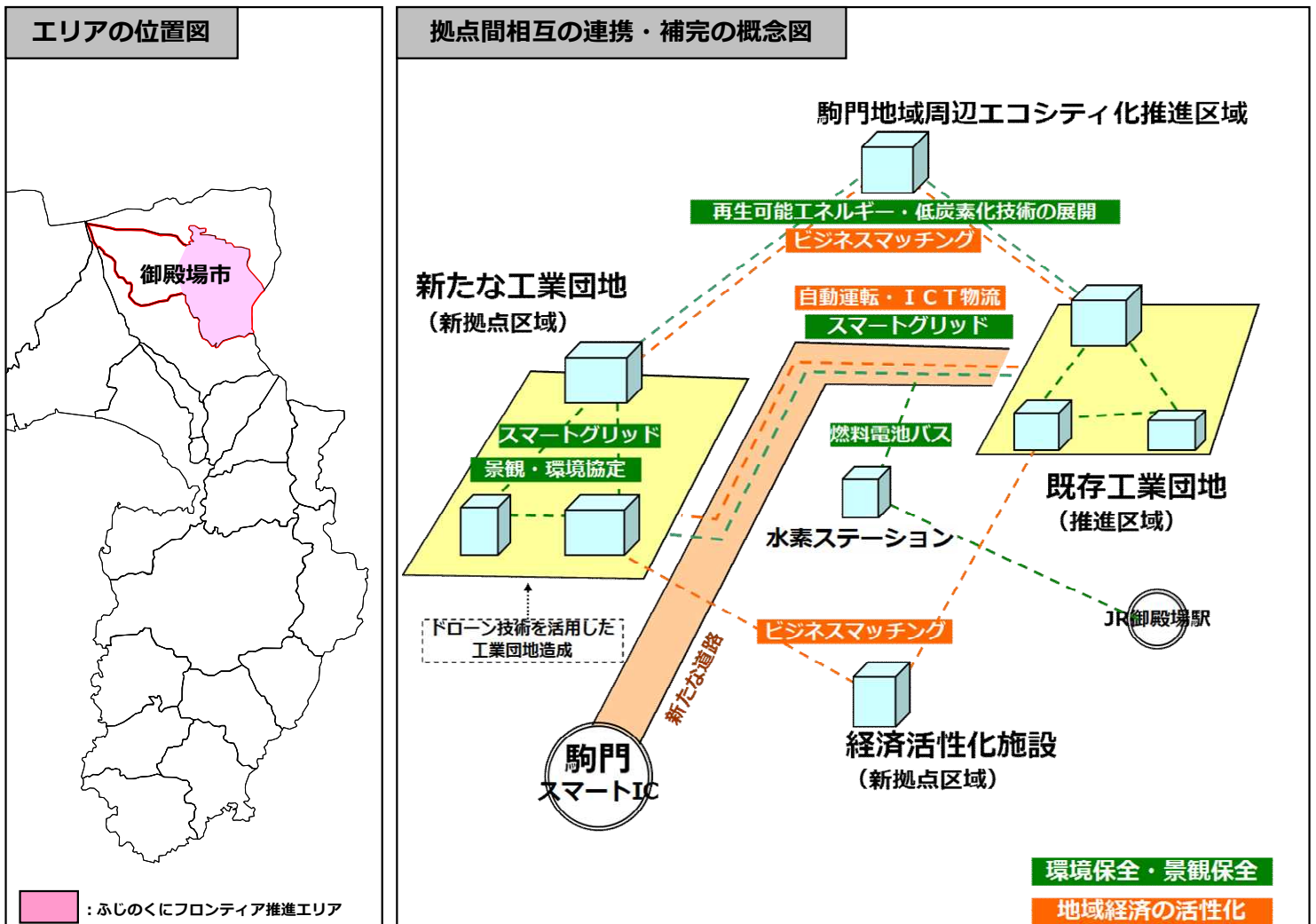
連携

単独



1 【御殿場市】 御殿場“エコガーデンシティ”産業立地促進エリア

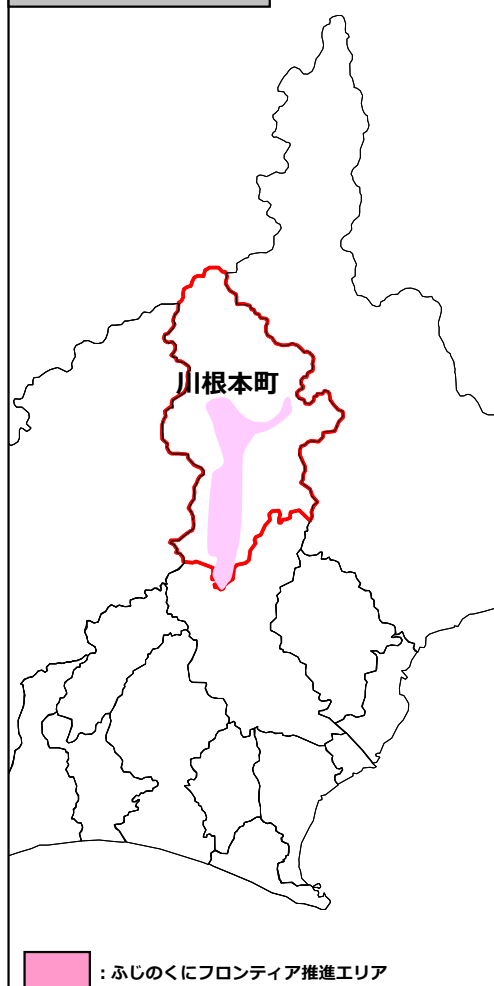
目指す姿	持続可能なエネルギー利用と低炭素社会を実現しながら、地域経済の好循環を目指す“エコガーデンシティ”構想実現のための先導的モデルエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○低炭素化技術の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点における再生可能エネルギー創出、活用技術の導入 ・企業間を循環走行する燃料電池バスの導入 ○エリア内のエネルギー循環の最適化 ○エリア全体の景観保全（阻害抑制、緑化推進等） ○環境関連産業等の集積を図る工業団地開発 ○拠点間のビジネスマッチング、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・エリアの経済の中心となる経済活性化施設整備 ○拠点を結ぶ団地間連絡道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT物流、自動運転実証によるエリア全体の移動・輸送の最適化
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）夏刈南部工業団地／（仮称）板妻南第3期工業団地／（仮称）板妻南第4期工業団地 ・経済活性化施設
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業立地事業費助成、ふじのくにフロンティア推進資金（予定）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月に夏刈南部工業団地2区画の造成が完了。造成工事では、ドローン測量による3次元設計図作成等、ICT技術を活用 ・低炭素化技術の展開として、令和2年4月に民間事業者による燃料電池自動車用水素ステーションの操業を開始



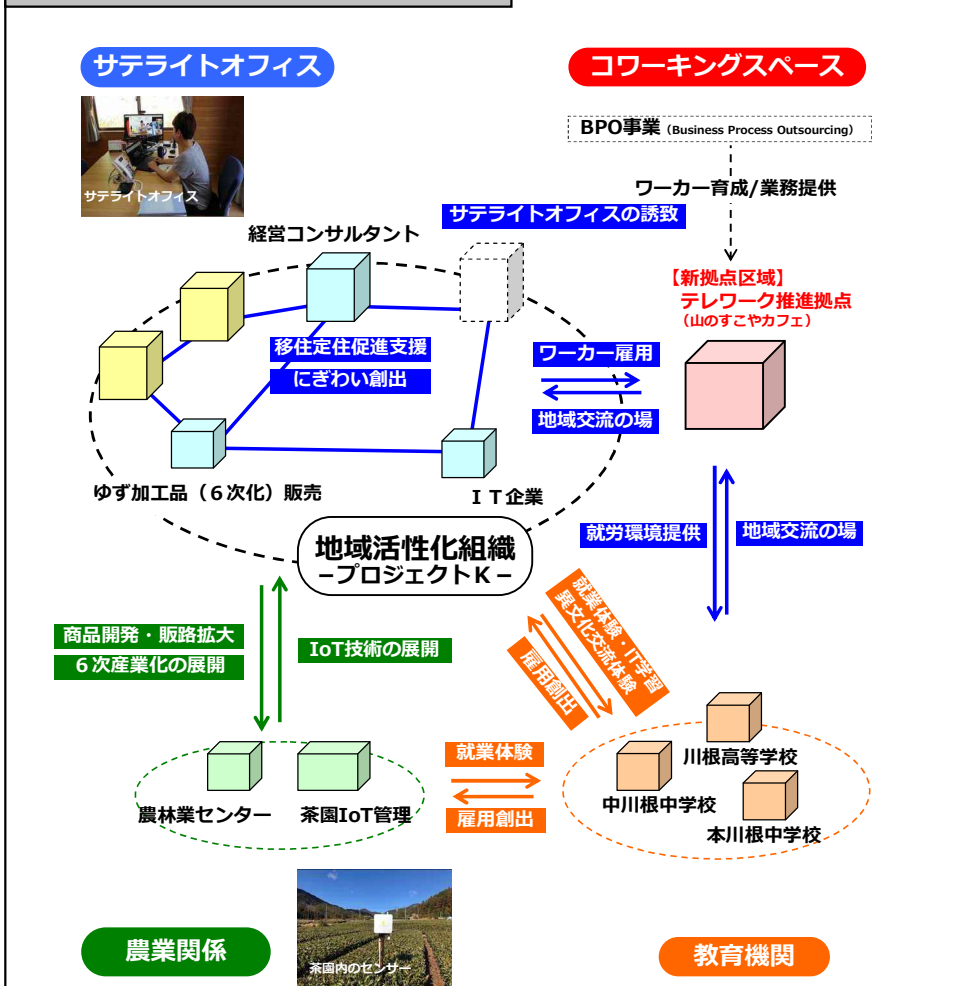
2 【川根本町】 ICT・IoTによる新産業創出推進エリア

目指す姿	ICTインフラやIoTを活用した新たな産業やにぎわいを創出し、町民が個性豊かに「学び」「働き」「暮らす」ことができる魅力あるエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○エリアへの新たな人の流れ（新たな就労環境）の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク推進拠点（山のすこやかカフェ）の整備 ・空き家を利用したサテライトオフィスの誘致 ・BPO事業により育成されたワーカーの町内企業での新規雇用 ○企業と教育機関の連携による地域を支える人材の育成 ○農業の成長産業化（農業IoT・6次産業化）に係る技術提携
新拠点区域	・ テレワーク推進拠点（山のすこやかカフェ）
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域 ・ 各教育機関（川根高等学校・川根中学校・中川根中学校）／川根本町農林業センター
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT関連産業立地事業費補助金（予定）（サテライトオフィスへの進出企業の内容による）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年3月にテレワーク推進拠点（山のすこやかカフェ）の改修工事が完了し、同年4月にオープン ・ 川根高校等と進出企業及び既存企業とのマッチングセミナーや交流機会を提供

エリアの位置図



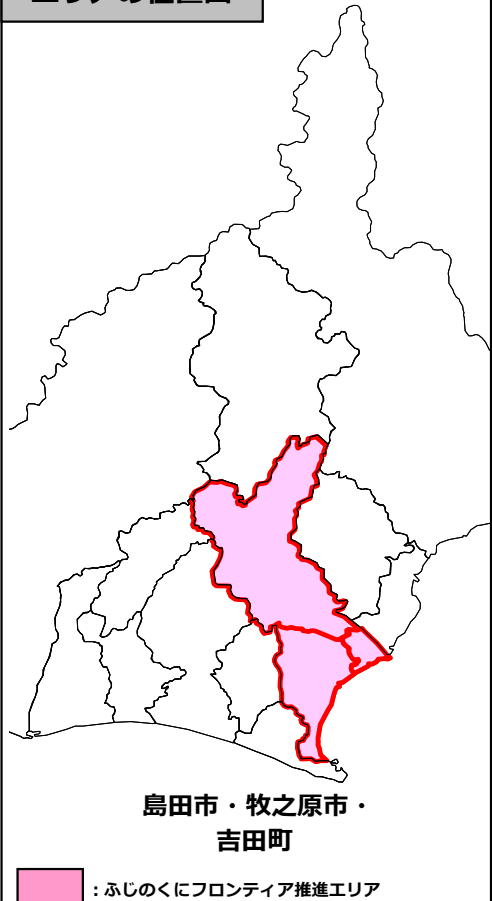
拠点間相互の連携・補完の概念図



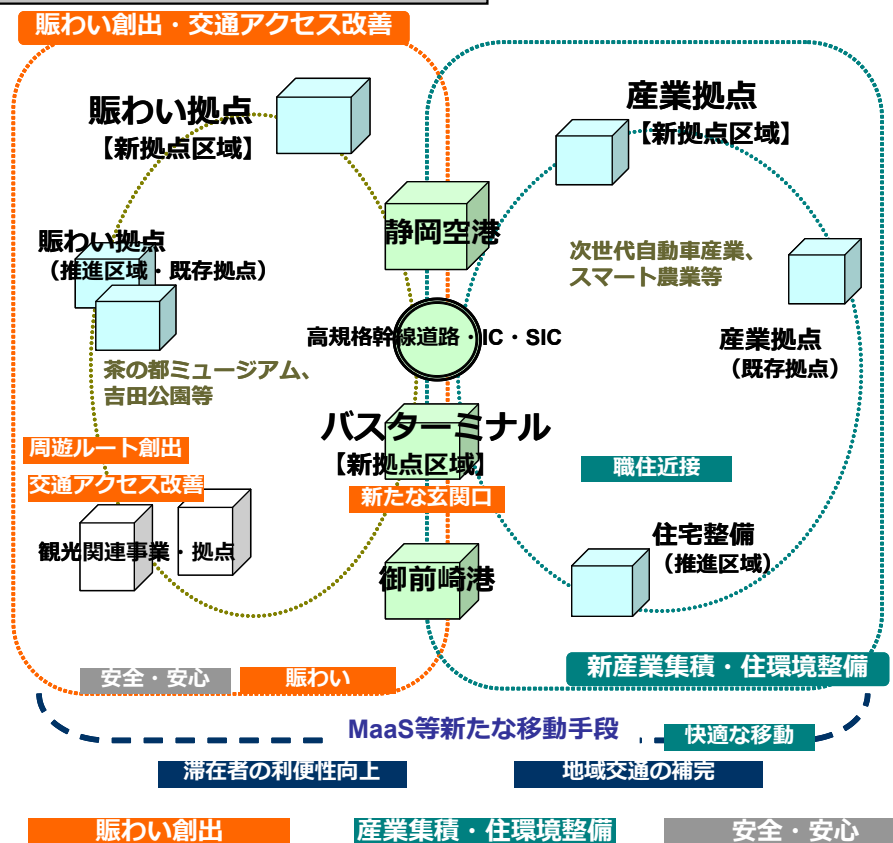
3 【空港周辺】 富士山静岡空港周辺観光・産業交流推進エリア (島田市・牧之原市・吉田町)

目指す姿	富士山静岡空港や高規格幹線道路、新たなモビリティ等の交通ネットワークの活用と、拠点間の相互連携により、新たな人・モノの流れを生み出す観光・産業交流推進エリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○空港を中心とした新たな賑わい拠点の創出および既存資源との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・MaaS等の新たなモビリティを活用し、既存の観光・商業施設や、新たな賑わい拠点などを結ぶ交通アクセスを改善するとともに、周遊ルートを創出による更なる観光交流を生み出しながら、エリア全体の消費拡大、地域経済を活性化 ○陸・海・空のネットワークを活用した新産業の集積と新たな住環境の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車研究開発等の産業を誘致する拠点を整備し、雇用の受け皿を確保
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・工場跡地利活用促進拠点、旧金谷中学校跡地活用推進拠点 ・萩間地区工業用地開発推進拠点 ・（仮称）東名吉田IC周辺バスターミナル推進拠点、シーガーデン推進拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・新東名島田金谷IC周辺都市的土地利用推進区域 ・東名相良牧之原IC周辺土地利用推進区域 ・物資供給拠点確保事業推進区域、企業活動維持支援事業推進区域 等
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり構想等策定支援アドバイザー派遣、地域産業立地事業費助成、ふじのくにフロンティア推進資金（予定）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・工場跡地利活用促進拠点：民間事業者の土地取得が決定。産業拠点の機能に加え、賑わい創出の機能についても今後検討 ・萩間地区工業用地開発推進拠点：令和3年度末に基本設計完了 ・シーガーデン（川尻海岸）推進拠点：令和3年度中に防潮堤天端・側道の工事、漁港東側広場の盛土・張芝整備、水防センター兼賑わい施設の整備を実施

エリアの位置図

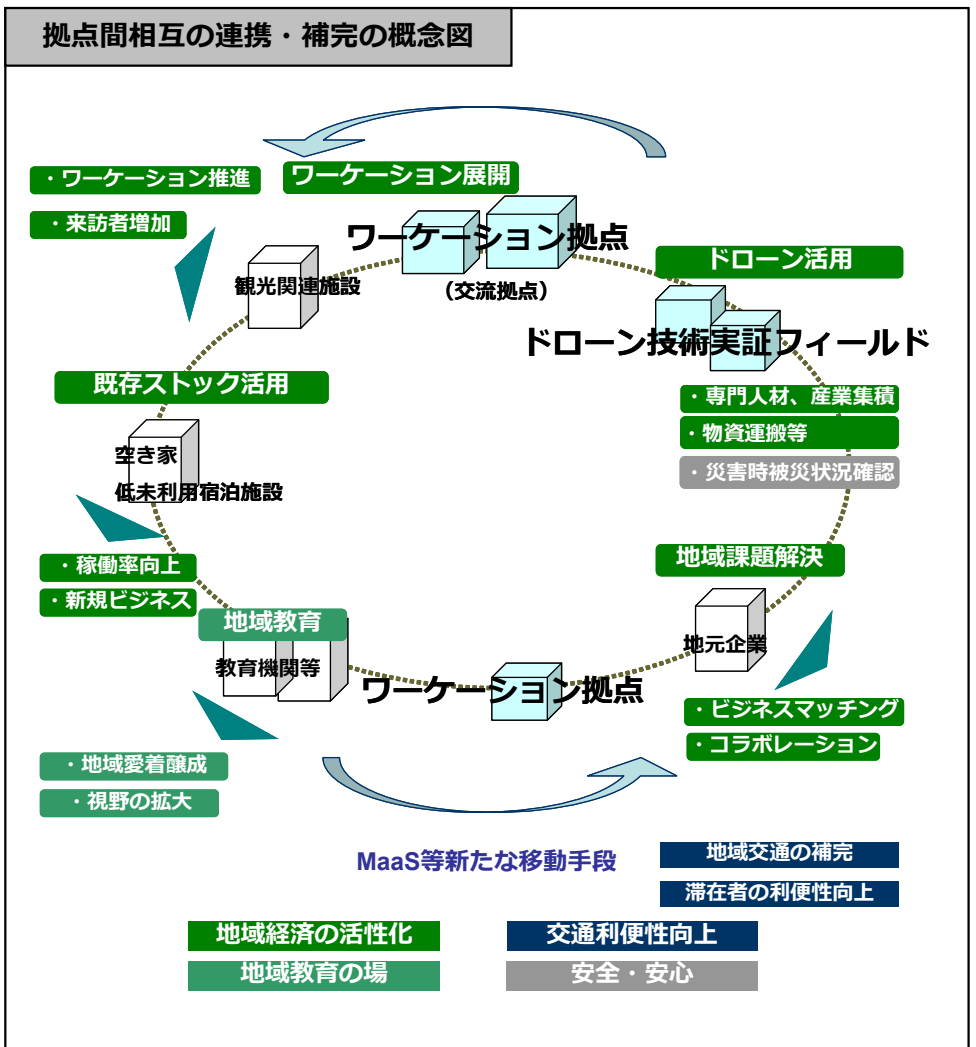
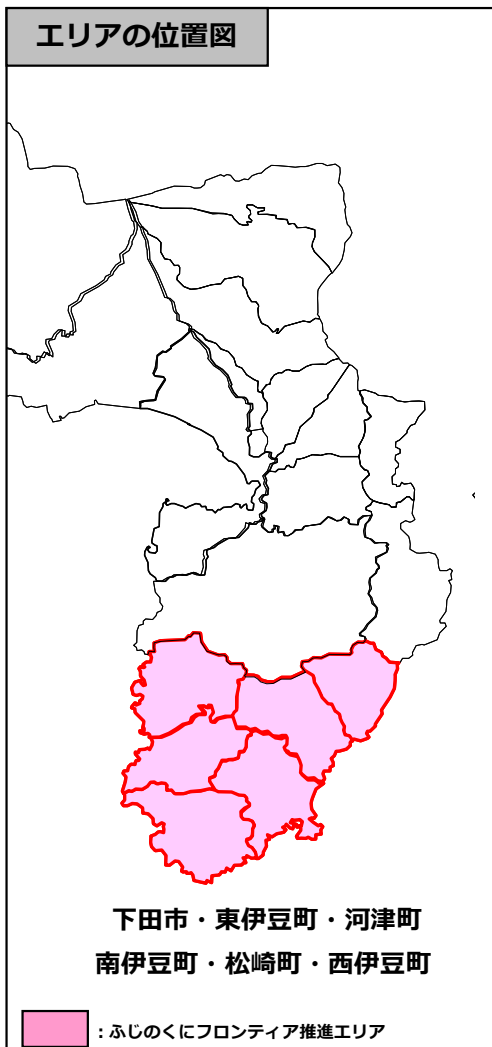


拠点間相互の連携・補完の概念図



4 【賀茂地域】世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆'sライフスタイル』創造エリア
(下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町)

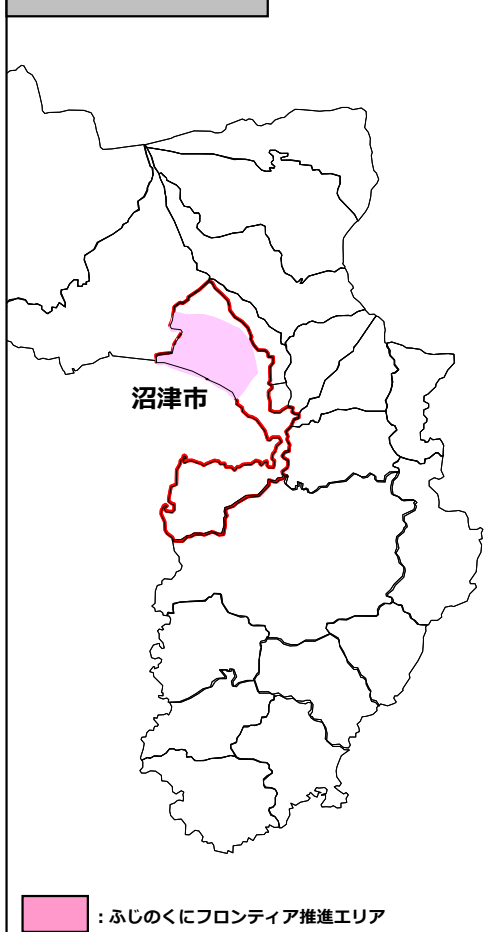
<p>目指す姿</p>	<p>自然、歴史、文化等、世界に誇れる魅力ある地域資源を最大限に活用し、地域特性に応じた賀茂地域ならではの働き方、暮らし方、遊び方を掛け合わせた、新しく、豊かで、多彩なライフスタイルを実現する先進モデルエリア</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○関係人口の創出による地域経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション、テレワーク、サテライトオフィスの誘致や拠点整備等を推進 ○新たなワーケーションスタイルの提案 <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者と地元企業・人材等との交流機会を創出するとともに、コーディネート機能を充実させ、地域課題解決型ワーケーションを推進 ・施設の相互利用、連携した情報発信、活動団体のネットワーク化等を実施 ○地域教育の場の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における交流授業の実施等、外部人材と地域の若者の交流の場の創出 ○観光型MaaSとの連携による地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・観光型MaaSの実装に向けた実証実験を推進 ○ドローン技術を活用した地域課題の解決 <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興や災害、物資運搬等地域課題の解決モデルを実践
<p>県支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業補助金
<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町でワーケーション拠点の整備を推進（河津町のバガテル公園内のワーキングスペースが令和3年4月にオープン等）。ワーケーション施設相互利用や団体ネットワーク化等について、組織構成、事業内容等を協議中



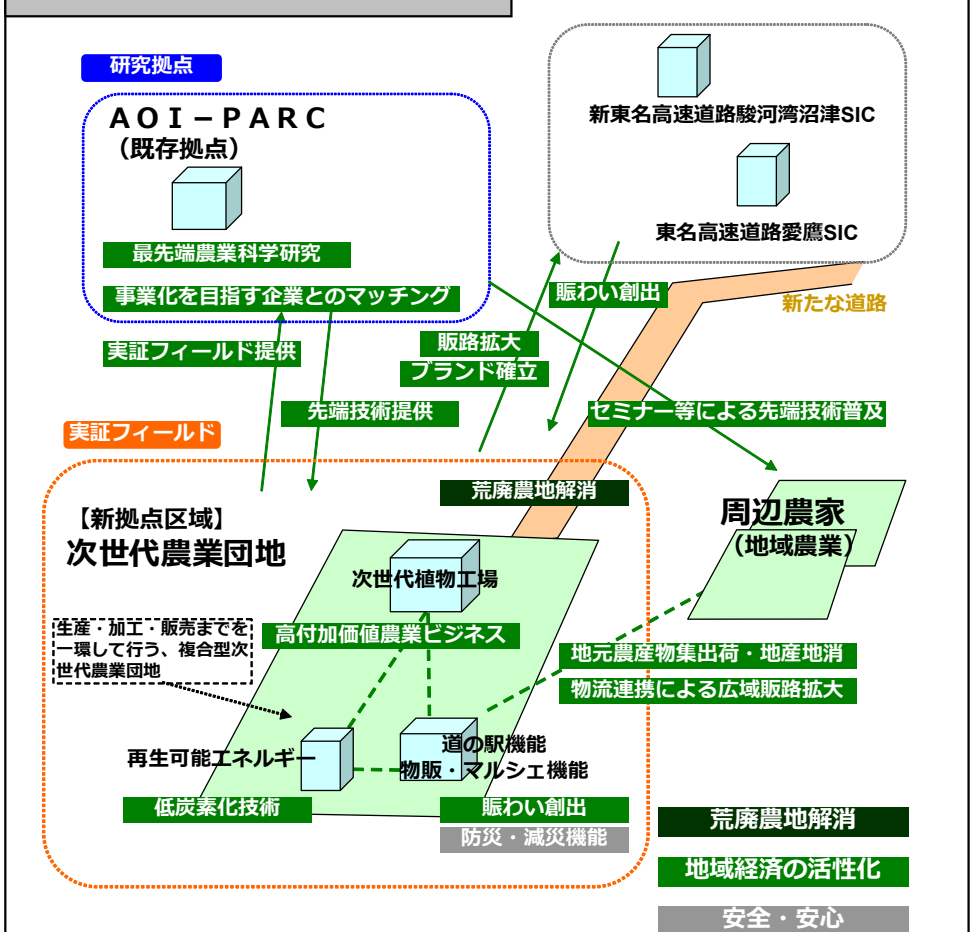
5 【沼津市】先端科学技術を活用した農業イノベーション創出エリア

目指す姿	先端科学技術を活用した農業の生産性改革と農業を軸とした関連産業のビジネス展開により、「農業の力」で地域の活性化を実現する農業イノベーションエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○荒廃農地のリノベーション <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地を活用した農業団地の整備を進め、ICTやビッグデータを活用したスマート農業の導入により、生産から加工、販売までを一貫して行う農業サプライチェーンモデルを構築し、農産物の生産性向上や安定供給を実現 ○先端技術の研究拠点と生産現場との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・AOI-PARCとの連携を図り、AOIプロジェクトで開発された革新的な栽培技術等を生産現場に導入し、技術的・経営的効果を実証するモデル事業として展開 ○地産地消の推進や賑わいの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の農業従事者との連携により、地場産品の集出荷機能を有する施設を整備し、地域内での消費拡大を図り地産地消を推進 ・物販、マルシェ、カフェ機能等の導入により、賑わいの場として活用
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・原・浮島地区農業団地整備推進拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・AOI-PARC ・東名高速道路愛鷹スマートIC、新東名高速道路駿河湾沼津スマートIC
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業立地事業費助成、ふじのくにフロンティア推進資金（予定）
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・原・浮島地区農業団地整備推進拠点で、令和3年6月に植物工場の整備に着手、令和4年5月末に完了予定

エリアの位置図

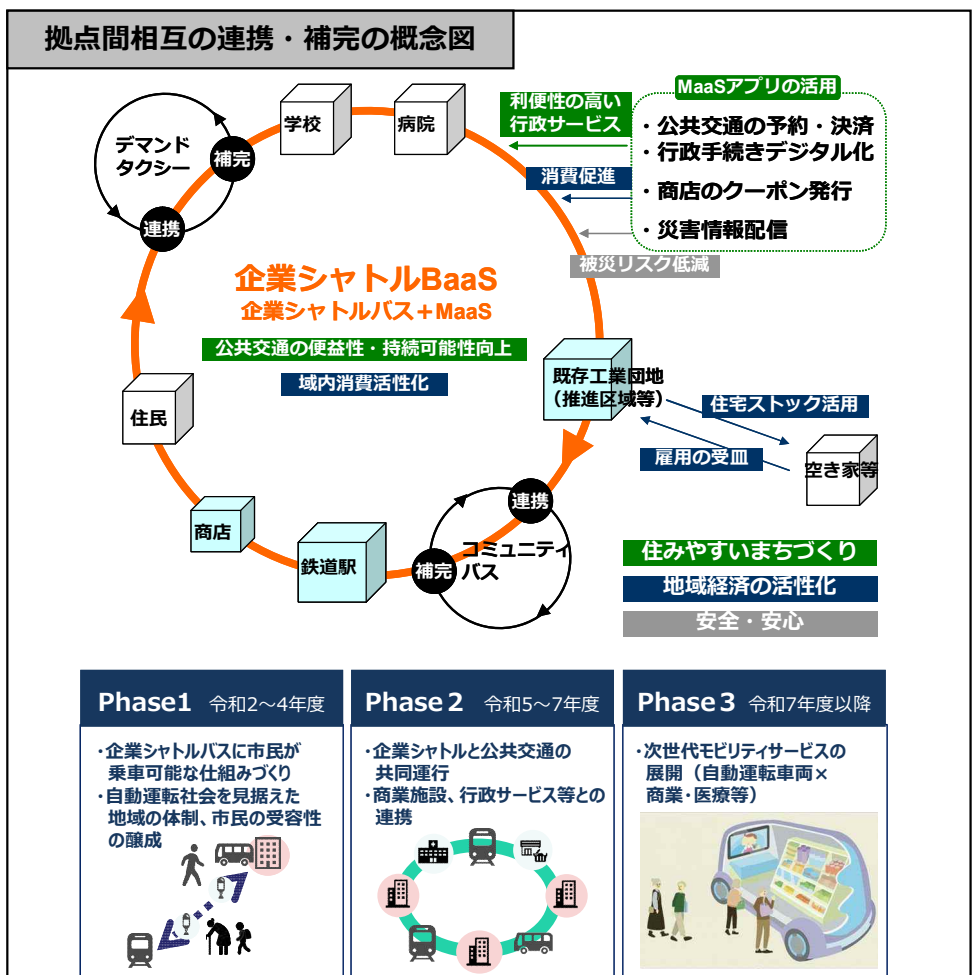
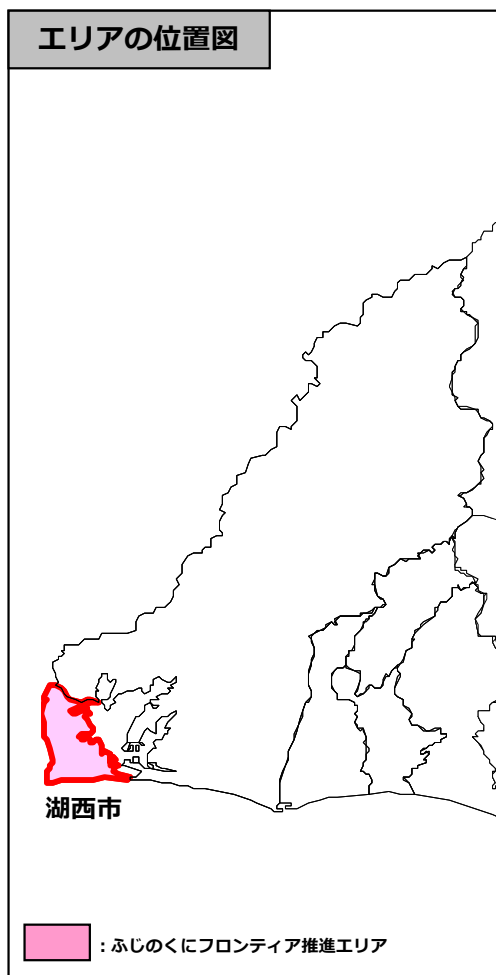


拠点間相互の連携・補完の概念図



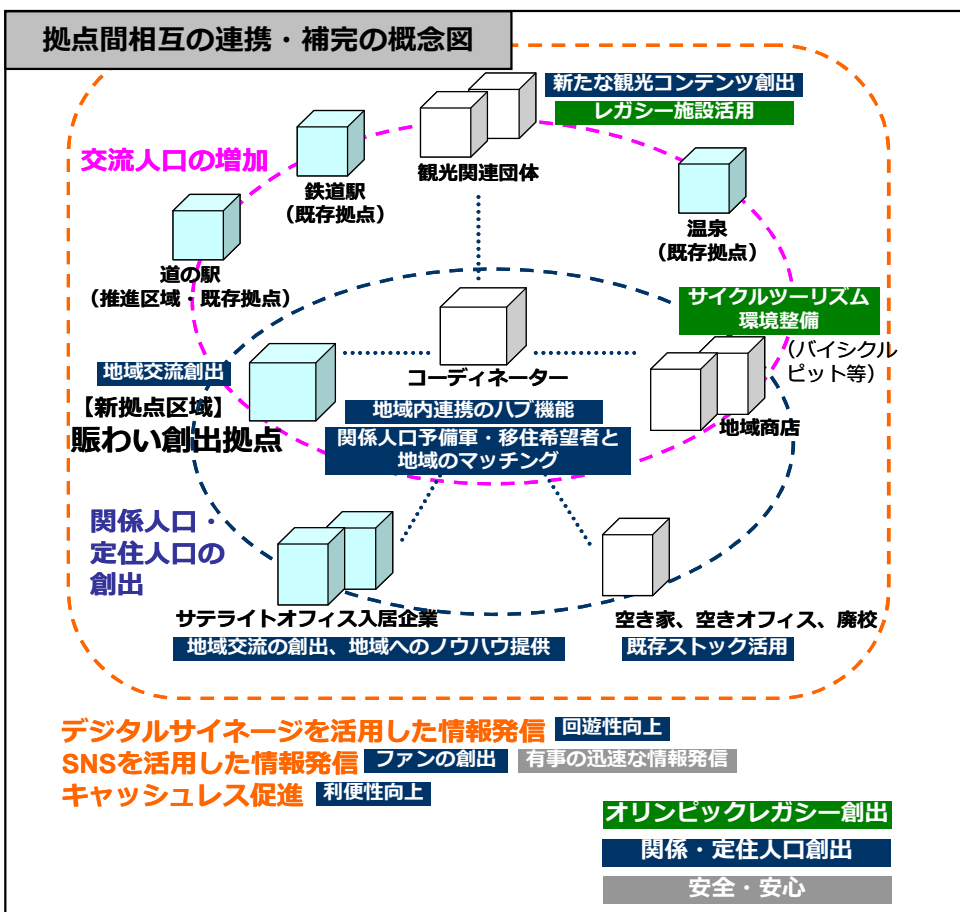
6 【湖西市】湖西市版MaaS（企業シャトルBaaS）によるデジタルシティ推進エリア

目指す姿	湖西市版MaaSである企業シャトルBaaSや、各種手続きのデジタル化の推進による、誰もが住みやすく、かつ、市内で経済が循環する先進モデルエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○企業シャトルバスを活用した地域公共交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・複数企業のシャトルバスを共同運行し、かつ、一般乗車も可能とする「企業シャトルBaaS」の運行により、公共交通の利便性・持続可能性を向上 ○MaaSアプリを活用した地域内消費の誘導、安全で利便性の高い行政サービス提供 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の飲食・小売事業者のクーポンをアプリ上で発行し、地域内消費を誘導 ・企業シャトルバスを活用した宅配支援により、市内商店での消費促進、企業従業員の買い物支援 ・行政手続きのデジタル化やアプリとの連携の推進により、非対面・非接触で、利便性の高い行政サービスを実現 ○職住近接の推進による地域内消費活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・MaaSアプリの活用や企業との連携による情報提供、住宅ストックの活用などにより、移住・定住を促進
新拠点区域	—
既存拠点	・浜名湖西岸地区産業集積推進区域、新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域、JR鷺津・新所原駅及び駅周辺商店
県支援事業	・ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業補助金
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業4社と湖西市企業シャトルBaaSの運行実証実験を実施 ・BaaSアプリ上で地域の商店等のクーポンを発行し、地域内消費の誘導を検証



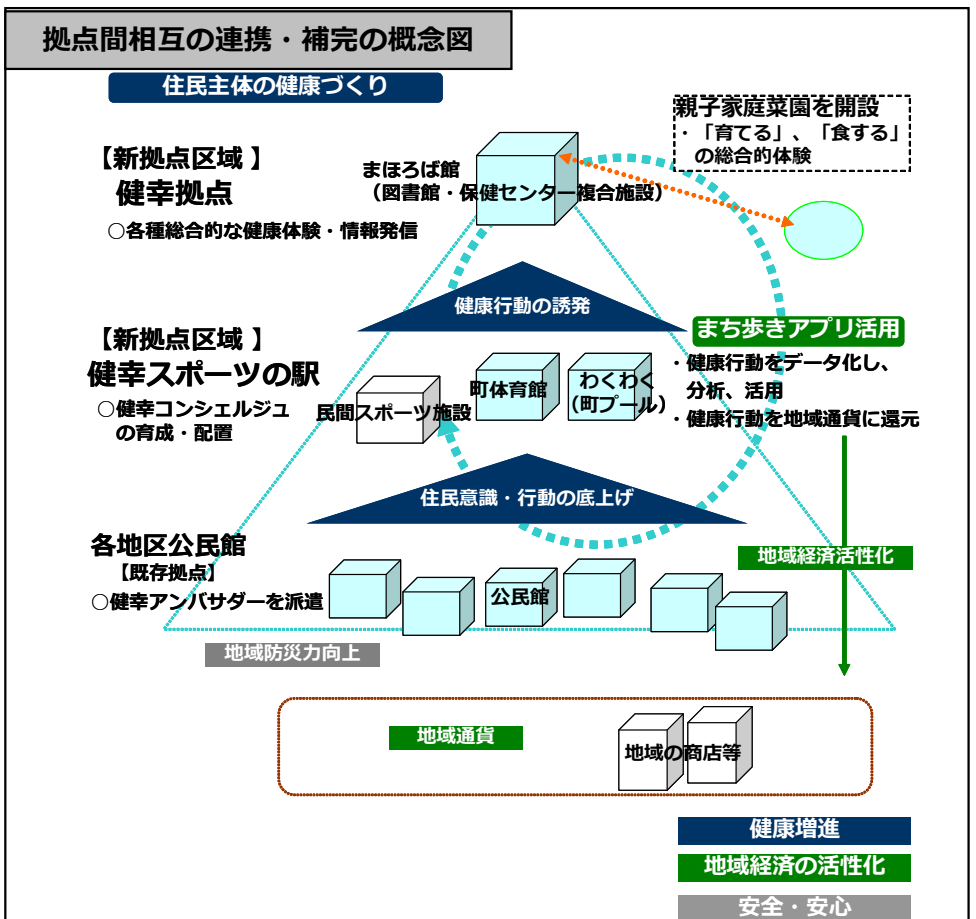
7 【伊豆市】東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、交流・関係・定住人口創出推進エリア

目指す姿	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、来訪者の皆様に新たな伊豆市との関わり方を提案し、新たな賑わいを生み出す交流・関係・定住人口創出エリア
取組内容	○東京2020オリンピック・パラリンピックをターニングポイントとした交流・関係・定住人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング等の新たな地域資源の活用や地域住民との交流など、滞在・体験・交流の要素を取り入れた観光コンテンツを創出し、拠点間相互の新たな人の流れや継続的な伊豆市との関わりを創出 ・レガシー施設を活用した新たな自転車・サイクリングファンの創出や、サイクリングルート上の店舗と連携した自転車での快適な旅を確保するための環境整備により、「サイクリングの聖地“伊豆市”」を確立 ・関係人口予備軍や移住希望者と地域のマッチング、連携のコーディネートなど、伊豆市との新たな繋がりを創出する体制を構築
新拠点区域	伊豆縦貫自動車道中間IC（仮称）周辺にぎわい創出拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・「天城北道路」と「道の駅」を活かした地域振興拠点づくり推進区域 ・天城北道路大平IC周辺“森と農”活力創造推進区域 ・修善寺・湯ヶ島温泉地区、修善寺駅、道の駅「天城越え」 ・伊豆市サテライトオフィス「狩野ベース」、旧土肥小学校
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業補助金
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆縦貫自動車道中間IC（仮称）周辺にぎわい創出新拠点推進事業で、まちづくりワークショップを実施



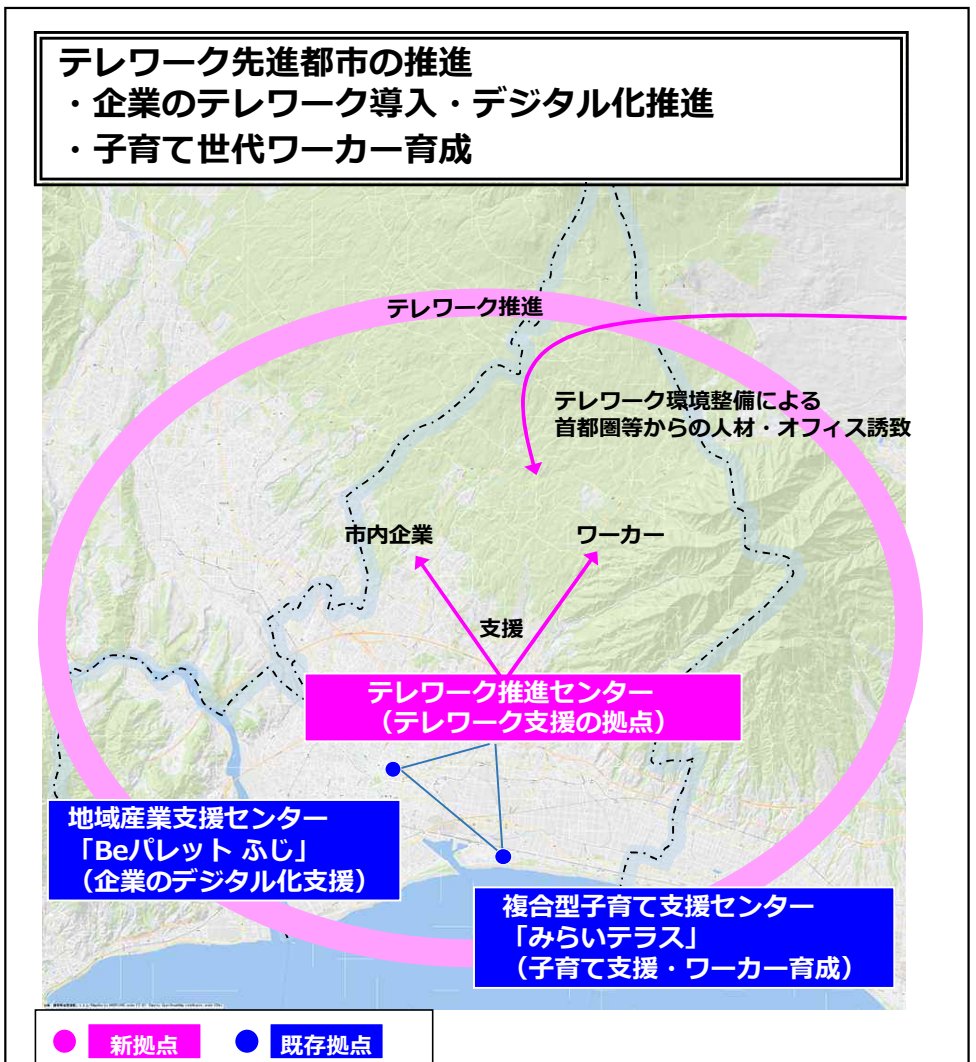
8 【清水町】笑顔があふれ誰もが健康に暮らせる『笑街健幸のまち』 推進エリア

目指す姿	日々の暮らしを通じてあらゆる世代・ライフステージに応じた心身の健康づくりを実現する、「清水町型スマートライフ」推進エリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「健幸スポーツの駅」設置・「健幸拠点」の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設や民間スポーツ施設に、町民の健康状態に応じた運動プログラムを提案する「健幸コンシェルジュ」を育成・配置し、「健幸スポーツの駅」として活用 ・図書館と保健センターの複合施設「まほろば館」については、両機能の連携等により、町の中心的な「健幸拠点」として位置づけ ○住民主体の健康づくり体制の構築・地区公民館の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の主体的な健康づくりの担い手となる「健幸アンバサダー」を育成。健康無関心層に健康情報を提供するほか、各地区の公民館に派遣し、健幸スポーツの駅の紹介や情報を提供 ○まち歩きアプリの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・健幸づくり事業と地域通貨「ゆうすいポイント」との連携により、健康行動を地域経済へ還元
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸スポーツの駅・健幸拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館、民間スポーツ施設等
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業補助金
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、民間スポーツクラブ等を健幸スポーツの駅として活用（令和4年度開始）するため、健幸コンシェルジュの養成及び運動プログラムの作成を実施。まほろば館で、健幸コンシェルジュ・アンバサダー養成講座及び親子食育農園の畑整備（令和3年12月完成）を実施



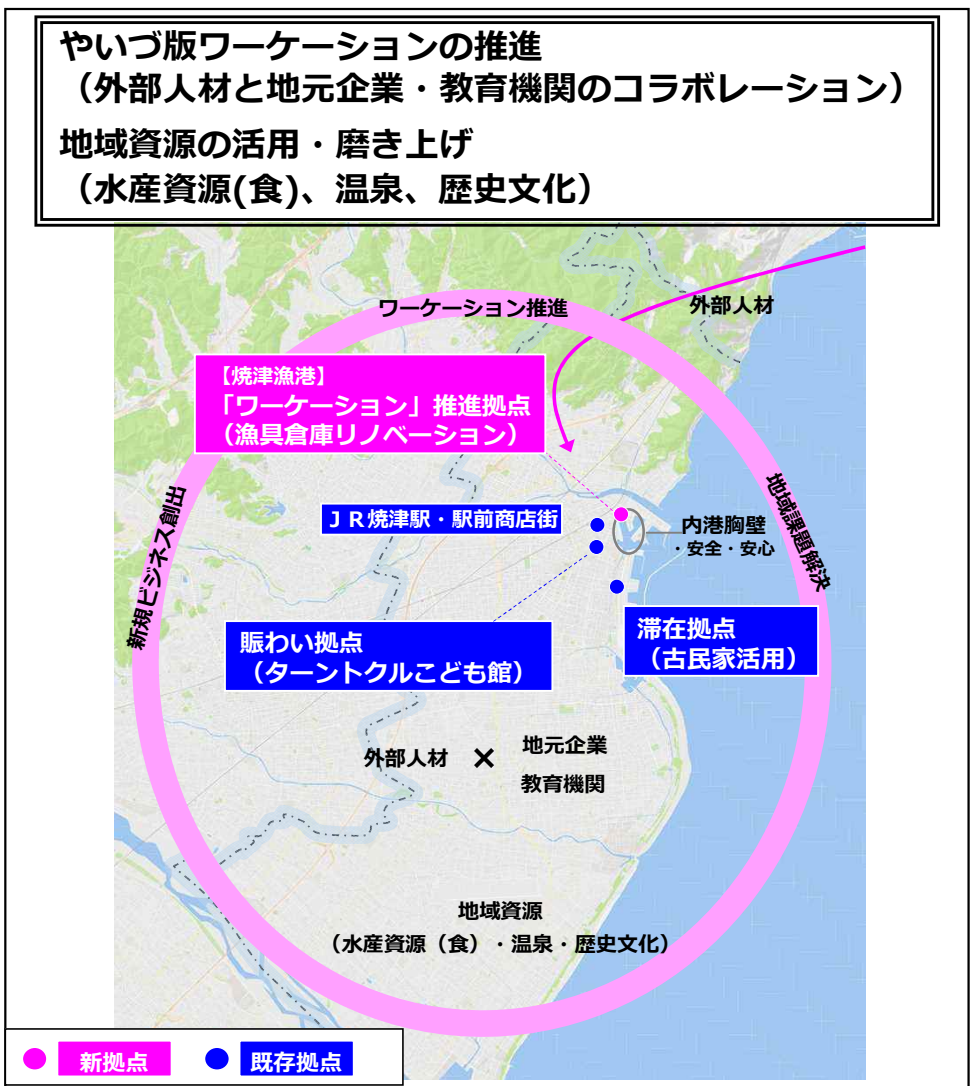
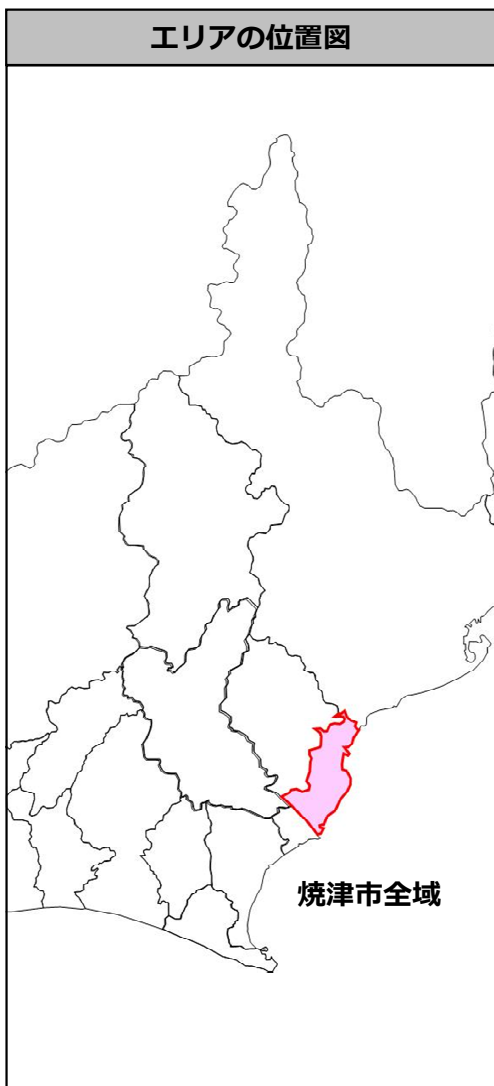
9 【富士市】企業の競争力と暮らしの質を高め、新たな価値を創造する テレワーク先進都市エリア

目指す姿	市内企業のテレワーク導入とデジタル化を支援し、ものづくり産業をはじめとする多様な業種において生産性の向上を図るとともに、子育てしやすく、災害や感染症などに強い就業環境と柔軟でしなやかな働き方を実現するエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市内企業のテレワーク導入推進・デジタル化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）テレワーク推進センターを設置し、コンシェルジュが市内企業の個々のニーズに対応したテレワーク導入支援を実施 ・製造現場のIoT、AI導入等のデジタル化を支援し、生産性の向上や人材不足の解消を推進 ○首都圏企業の誘致・ワーカーの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの設置支援やサテライトオフィスの誘致等により、市内にデジタル人材を呼び込み、人材交流やビジネスマッチング等を促進 ○子育て世代のワーカー育成、多様な働き方の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・複合型子育て拠点「みらいてらす」の「子連れコワーキングスペース」を活用した多様な働き方の支援や、ビジネススキルの習得等による人材の育成 ・ICTを活用した情報発信強化等により、子育て世代の柔軟な働き方の実現に向けた環境づくりを推進
新拠点区域	ー
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産業支援センター「Beパレット ふじ」 ・ 複合型子育て支援センター「みらいてらす」



10 【焼津市】「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「新たな働き方・楽しみ方」の掛け合わせにより、多彩な人々が寄り集う「港まちやいづ」創造エリア

<p>目指す姿</p>	<p>全国トップの水揚げを誇り、我が国を代表する漁港である焼津港を中心として栄えてきた「港まち」ならではの、水産文化都市が保有する「水産資源（食）」や「温泉」、「歴史文化」の地域資源とコロナ禍を踏まえた「新たな働き方・楽しみ方」等を掛け合わせるにより誘客を図り、交流・関係・定住人口を創出するエリア</p>
<p>取組内容</p>	<p>○地域資源の有効活用・磨き上げ ・古民家・漁具倉庫等をワーケーションやアクティビティ等の拠点として整備するとともに、食文化を楽しむガストロノミーツーリズムの概念も取り入れながら、「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「ワーク」の掛け合わせによる新たな働き手・ツーリストの受け皿づくりを推進</p> <p>○やいづ版ワーケーション（ワーク＋コラボレーション・イノベーション）の推進 ・外部人材と地域・地元企業・地元教育機関・関係団体等との交流促進による、新規ビジネスの創出や、地域の水産ブランド力の強化</p> <p>○空き店舗や空き家等を活用した新たな拠点の整備 ・サテライトオフィスやワークスペースを確保し、クリエイティブ人材と地域や地元企業が連携した地域課題解決ビジネスを創出</p>
<p>新拠点区域</p>	<p>・ 「やいづ版ワーケーション」推進拠点</p>
<p>既存拠点</p>	<p>・ 浜通り服部家（「庭の宿 帆や～hoya～ 焼津」）、JR焼津駅、焼津駅前商店街 ターントクルこども館</p>



11 【御前崎市】脱炭素社会と経済の活性化を実現する、御前崎型の次世代農業・販わい創出エリア

目指す姿	再生可能エネルギーの導入をはじめとしたカーボンニュートラルに向けた取組とともに、先端技術を活用した次世代農業の普及と、地域資源である海・港・マリンスポーツ等を活用した販わい創出により、脱炭素と経済好循環を実現するエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○AI・ICT技術を活用したスマート農業の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の地域モデルとなり、かつ、集出荷機能も備えた植物工場を誘致するとともに、地域農業へのAI・ICT技術の導入や、新たな流通網の構築による地場産品の販路拡大や地産地消を推進 ○御前崎港周辺の新たな販わい創出 <ul style="list-style-type: none"> ・既存ストックを活用したワーケーション拠点整備や、民間活力を活用したウォーターフロントの魅力向上により、新たな人の流れを呼び込む地域に転換 ○カーボンニュートラルの取組加速化 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システムやクリーンエネルギー自動車の導入促進によるエネルギーの地産地消の拡大や、バイオマス発電所から排出される温排水や排気を有効利用した、新たなビジネスモデルの構築
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 須々木IC周辺地区産業立地推進拠点 ・ 新野地区産業立地推進拠点 ・ 御前崎港バイオマス発電所周辺産業立地推進拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域 ・ 御前崎港バイオマス発電所（2023年運転開始予定） 等

